

最後の世代を教育する

Vol. 95, No.3

2019年7月-9月

目次

1. 「行って…教えよ」	5
2. 教育の諸原則	10
3. 教育のための本来の型	15
4. 昔のイスラエルにおける教育	20
5. 偉大な教育者	26
6. 真の教育の基礎	31
7. 教師になるために	36
8. 家庭教育者になるための案内書	41
9. 教会と教会の青年	47
10. 宣教学校の働き	52
11. 世界に伝える	57
12. 永遠のために築く	62
13. 聖霊の約束	67

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔 〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部 (P.O.Box 7240 Roanoke, Virginia 24019-0240, U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.95, No.3

編集&発行:

S DA改革運動日本ミッション

〒368 - 0071

埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保
1607 - 1

TEL : (0494) 22-0465

FAX: (0494) 40-1045

URL :

<http://www.4angels.jp>

E-mail:

support@4angels.jp

イラスト : Sermonview on the front cover, and Dreamstime on p. 25, 72; Google Maps on pp. 4, 51, 72.

まえがき

クリスチャン教育の主題は、安息日聖書教科の最近 100 年の出版の中で少なくとも 6 回は吟味されてきました。生徒も教師もオンラインの出版アーカイブで 1946 年、1952 年、1969 年、1986 年、1990 年、そして 2008 年から今なお研究することのできるこれらの教科に関心を持たれることでしょう。

この教科では過去に研究した教訓として同じ分野を網羅しようとするものではありません。そうではなく、わたしたちが今日生存している時代に関連して、真の教育の本質をとらえ、全世界へ福音を宣べ伝える働きを完成へ導こうとするものです。

イエスが次の約束を与えられた日から幾世代が現れては去って行きました、「そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである」(ヨハネ 14:3)。福音を伝え、イエスの来臨に備える働きは進められてきました。ある日、ついにこのお方は戻ってこられます。そしてこのお方の来臨の時に生存している世代が最後になります。

再臨運動の当初より、信徒たちの希望は、自分たちが「最後の世代」の中にあることでした。しかし、主はなお延ばしておられます。まだなすべき働きが、教会の中にも外にも両方に残されているのは明らかです。なぜなら、「実がいと、すぐにかまを入れる。刈入れ時がきたからである」(マルコ 4:29)。「キリストの品性が完全にキリストの民の中に再現されたときに、彼らをご自分のところに迎えるために、主はこられるのである」(キリストの実物教訓 47)。

真の教育は「それは知、徳、体の能力の円満な発達を意味している。真の教育は、この世における奉仕の喜びと、さらにまたきたるべき世界におけるいつそう 広い奉仕の、より大いなる喜びのために、生徒を準備させることである」と定義されています(教育 2)。

たしかに、この準備がなわわたしたちすべての者の中で完成されなければならないため、真の教育を理解することがわたしたちの真剣な研究課題となるべきです。

1 世紀以上前に、この厳粛な課題が教会に与えられました。「今、かつてなかったほど、わたしたちは真の教育の科学を理解する必要がある。もしわたしたちがこれを理解することに失敗するならば、わたしたちは決して神の御国に場所を得ることはない」(クリスチャン教育者 1897 年 8 月 1 日)。

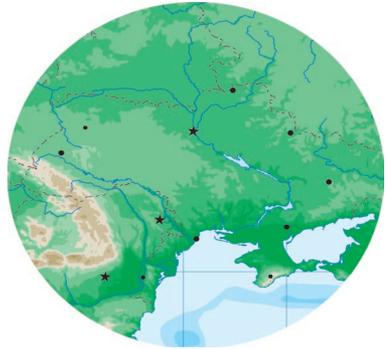
今日、わたしたちはこの課題に注意を払い、召しに答え、最後の世代の教育の働きを完成させることができますように。

世界総会安息日学校教育支部

第一献金 ウクライナにおける健康センターのために

ウクライナはロシア、ベラルーシ、ポーランド、スロバキア、ハンガリー、ルーマニア、モルドバに国境を接し、黒海とアゾフ海に南方と南東にそれぞれ面しています。クリミア半島を除きますと、ウクライナの人口は4,250万人です。主な宗教は、東方正教イースタン・オーソドックス）とギリシャ・カトリックです。首都にして最大の都市は、キエフです。

改革運動はここで1940年代に始まりました。この地域の様々な場所で、SDA改革運動のメンバーが自分たちの言葉と生活により、第三天のメッセーの光を証してきました。このようにして共産主義時代の間、働きがなされました。1990年に、ソビエト連邦共和国の崩壊の間、ウクライナは自由を得ました。わたしたち数々の教会を建設し、新しい場所で働きを開始しました。



今日、しかしながら、宗教的な事柄に無関心になってきました。真理はかつてほど人気なくなり、かつてそれを提示した方法は、今は効果的ではありません。しかし、いつも道を開く方法が一つあります。それが医事伝道です。靈感の筆は次のように記しています、「〔神は〕医事伝道が、この時代のための救いの真理の提示のために、すなわち第三天のメッセーの宣布するために道を備えるようにと計画しておられる。」「わたしたちの治療院は人々に手を差し伸べる道具となるべきである」（教会への証 6 巻 293, 225）。

病気と苦しみが世界中に増加しているので、医事伝道の働きはかつてなかったほど必要とされています。この必要に応じるために、わたしたちは2014年に健康治療センターを設立する準備を進めました。神のみ助けにより、トランスカルパチアン地域に一角の土地を購入しました。それは非常に美しい絵画のような場所にあるクストの町の近くにあり、すぐ近くには温泉があります。その土地には、まだ完成していない建物もあります。しかし、この事業を完成するためには、さらに資金が必要です。わたしたちの国の資金状況は非常に困難です。兄弟たちの多くは、生活費を稼ぐために他の国々へ旅行しなければなりません。その理由により、わたしたちは世界中の兄弟姉妹の皆さんに、この事業を完成させるための資金をもって助けて下さるようお願い致します。この方法により、治療を必要としている魂を助け、福音のメッセーを伝える準備ができるようになります。神様が捧げて下さるお一人お一人を祝福して下さいますように。

ウクライナの皆さんの兄弟姉妹より

「行って…教えよ」

「ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。」(使徒行伝 1:8)

「人が聖霊の支配に身をゆだねる時、神はこのように大いなる働きをなさることができるのである。」(患難から栄光へ上巻 45)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 18-28

日曜日

6月30日

1. すべての国民に教えよ

a. イエスはご自分に従う人々にどの任務をお与えになりましたか(マタイ 28:19, 20)。

「福音の任命は、キリストの国の宣教大憲章である。弟子たちは人々のために熱心に働き、すべての人々に恵みの招待状を渡さなければならなかった。彼らは人々がやってくるまで待つのではなく、メッセージを携えて人々のところに行かなければならなかった。」(患難から栄光へ上巻 22)

b. 彼らの働きはどのように進展し、またどれほど遠くまで及びましたか(使徒行伝 1:8)。

「たとえわたしの民がいのちを得るためにわたしのもとに来なくとも、たとえ祭司や役人が記録にあるとおりのことをわたしに向かって行ったとしても、たとえ彼らがわたしを拒んだとしても、彼らには神のみ子を受け入れるまた別の機会が与えられているのである。自分の罪を告白して、わたしのもとに来る者を、わたしがみな快く受け入れるのをあなたがたは見てきた。わたしのもとに来る者をわたしは決して追い出しはしない。わが弟子たちよ、わたしはあなたがたにこの恵みの使命をゆだねる。それは、ユダヤ人にも異邦人にも、最初にイスラエル人に、それからすべての民族、国語、国民らに与えられなければならない。信じる者がすべて、一つの教会に集められなければならない。」(同上 20-22)

2. 学ぶが遅い

- a. イエスが弟子たちに、ご自分が捕らえられ、十字架につけられることをあらかじめ警告なさろうと努められたとき、どのようにしばしば彼らは心がかき乱されましたか(マルコ 9:31-34; ルカ 22:21-24)。

「ガリラヤの旅では、キリストは、弟子たちの心を、ご自分の前にある場面のために備えさせようともう一度試みられた。イエスは、ご自分がエルサレムにのぼって死刑にされ、ふたたびよみがえられることを彼らに語られた。しかもイエスは、ご自分が敵の手に売り渡されるというふしぎで厳粛な知らせをつけ加えられた。弟子たちはいまでもまだイエスのことばがわかっていなかった。大きな悲しみの影が彼らの上に落ちかかったが、彼らの心には競争意識が宿っていた。彼らは王国ではだれが一番えらい者としてみられるだろうかということを互に論じた。彼らはこの争いをイエスにかくしておこうと思ったので、いつものようにイエスのそばによりつかないで、うしろからぶらぶら歩いて行った。だからカペナウムにはいった時には、イエスが彼らよりも先に歩いておられた。イエスは、弟子たちの心を見抜かれて、彼らに忠告と教えを与えたいと望まれた。しかしイエスは、彼らの心が、イエスのみことばを受け入れるように開かれる静かな時間を待たれた。」(各時代の希望中巻 206, 207)

「弟子たちは、キリストがご自分の権力を主張されてダビデの位を占められるのだという好き勝手な考えに執着していた。そしてそれぞれに心の中で依然として王国の最高の地位にあこがれていた。彼らは、自分自身にまたお互いの上に勝手な評価をくだし、兄弟たちを自分よりもりっぱな人としてみないで、自分自身をまず最高とした。」(各時代の希望下巻 117, 118)

- b. これらのことは、どのように彼らを驚きをもって捕らえましたか(ルカ 24:13-22)。

「ふしぎなことに、この弟子たちは、キリストのことばを思い出して、キリストが予告された通りのことが起こったのだということに気がつかなかった。彼らは、キリストがうちあけられた話のあとの部分、すなわち三日目にキリストがよみがえられるということが、はじめの部分と同じように成就するということが気がつかなかった。これは彼らがおぼえていなければならなかった部分であった。祭司たちと役人たちはこのことを忘れていなかった。「あくる日は準備の日の翌日であったが、その日に、祭司长、パリサイ人たちは、ピラトのもとに集まって言った、『長官、あの偽り者がまだ生きていたとき「三日の後に自分はよみがえる」と言ったのを、思い出しました。』(マタイ 27:62, 63)。しかしこの弟子たちは、そうしたことばをおぼえていなかった。」(同上 332, 333)

3. 約束されたもう一人の教師

- a. キリストはご自分の昇天後、どのようにご自分の弟子たちを続けてお教えになりましたか(ヨハネ 16:12, 13)。
- b. 御霊はどのようにわたしたちを教え、正しますか(ヨハネ 16:8)。

「聖霊は、神の真理を啓示する唯一の力ある教師であるため、聖霊のご臨在とその助けなくして、み言葉を宣布しても、何の効果もない。真理が聖霊と共に心に入るときにのみ、それは良心を目覚めさせ、生涯を変えるのである。牧師は、神のみ言葉の文字を提示することはできるかもしれない。彼はそのすべての戒めと約束に精通しているかもしれない。しかし、彼の福音の種まきは、もし天来の露により目覚めさせられるのでなければ、成功しないのである。神のみ霊の協力がなければ、どれほど教育があっても、利点がどれほど大きくても、一人として光の通路にすることはできないのである。新約聖書中の一つの書が記される前に、キリストの昇天後、一つの福音の説教がなされる前に、聖霊は、祈っている弟子たちの上におとずれたのであった。そのとき彼らの敵の証は、『エルサレム中にあなたがたの教を、はらんさせている』であった。」(福音宣伝者 440, 441)

- c. 神は残りの民にどの特別な賜物をお与えになりますか(黙示録 12:17; 19:10)。わたしたちは今日、どこでこの賜物が働いているのを見いだしますか。

「わたしは尊い聖書を取り、そのまわりに神の民のために与えられた何冊かの教会への証をおいた。わたしは言うが、ここにほとんどすべての事情が対応されている。彼らが遠ざけるべき罪が指し示されている。…しかし、証の書に何が記されているかを本当に知っている人は、あなたがたの中に多くない。あなたがたは聖書に精通していない。もしあなたがたが聖書の標準に達し、クリスチャンの完全を得たいとの願いをもって、神のみ言葉を自分の研究課題としてきたなら、あなたがたは証の書を必要とはしなかったであろう。自分で神の靈感を受けた書物を知ろうすることを怠ってきたがゆえに、このお方は単純で直接的な証をもってあなた方に手を差し伸べ、あなたがたの注意を、あなたがたが従うことをなおざりにしてきた靈感の言葉に向けさせ、自分の生活を聖書の純潔で高められた教えに従って形づくるよう強く訴えてこられたのである。」(教会への証 2 巻 605)

4. 与えられた霊

a. どのように御霊の約束は繰り返されましたか (使徒行伝 1:4-9)。

「イエスは弟子たちの前に広大な真理の道をお示しになった。しかし彼らはキリストの教えを律法学者やパリサイ人の言い伝えや格言と区別することは非常に困難であった。……。世俗的な考えやこの世の事物がいまだに彼らの思いの中に大きな場所を占めていた。キリストはご自分のみ国の霊的な性質についてたびたび彼らに説明されたが、彼らはそれを理解しなかった。彼らの頭は混乱していた。彼らはキリストが示された聖句の価値を理解しなかった。キリストの教えの多くは彼らにほとんど益を与えていないように思われた。イエスは、彼らがイエスのことばの真の意味をとらえていないことをお知りになった。主は、聖霊がそうしたことばを彼らの心に思い出させてくださるということ、あわれみ深くも約束された。また主は、弟子たちが理解できない多くのことをこれまで言わないでおかれた。そうしたこともみたまによって彼らに教えられるのであった。みたまは彼らが天の事物を理解するように彼らのさとりを開いてくださるのであった。」(各時代の希望下巻 155～156)

b. 約束が成就したとき、何が起こりましたか (使徒行伝 2:1-4)。

「この天の光に照らされて、キリストが弟子たちに説明しておられた聖書は、完全な真理として彼らの前に燦然と輝いた。ベールが取り除かれて、既に廃止されたことが一つ残らず弟子たちの前に明らかになった。弟子たちはキリストの使命の目的と神の王国の性質を全く明快に理解した。彼らは救い主の力をもって語る事ができた。そして、彼らが聞く者たちに救いの計画を説くと、多くの人々が罪を悟り、納得した。」(患難から栄光へ上巻 39)

「ペンテコステの当日、聖霊が注がれたその結果はどうであったろうか。復活された救い主についての喜ばしい知らせは、人の住むところにはどこにでも伝えられた。弟子たちがあがないの恵みについての使命を伝えると、人々の心はこの使命の力に従った。……。どのクリスチャンもみな、お互いのうちに神の愛と慈善心があらわれているのを見た。ただ一つの関心が支配し、一つの対象を求める熱意が他のすべてをのみこんだ。信徒の望みはキリストのご品性に似たものとなることであり、神の国を発展させるために働くことであった。」(同上 44)

5. 全世界に

- a. 初期のある信徒たちは、知識において進歩しなかったことを、どのようにやさしく譴責されましたか（ヘブル 5:12）。

「教師となるべき多くの人々が、クリスチャン生活の初歩をほとんど学んでいない。彼らは絶えず自分たちを教えてくれる人を必要としている。彼らは聖潔、信仰、希望、喜び、感謝において成長していない。キリストは、無限の代価をもって、道を開かれた。それはわたしたちがクリスチャン生活を送ることができるためであった。…偉大な使徒が自分の行く道の一貫性と美しさを維持したのは、キリストを信じる信仰によってであった。彼は反対、侮辱、迫害、投獄に、キリストだけが与えることのできる堅固さと柔和とをもって受けた。わたしたちの義務は、彼の義務と少しも変わらない。わたしたちの特権は大きく、わたしたちの機会は豊かである。偉大な光がわたしたちの上に輝いているが、それはその導きに従うことを拒む人々にとっては闇となる。」（ビュー・アンド・ヘラルド 1882年5月30日）

- b. どの働きが尚なされなければなりませんか、またどのようにですか（マタイ 24:14）。

「全能の神のみ霊は人々の心に働きかけて、その感化を受けるものたちは、神と神の真理のために証人となるのである。献身した人々が、キリストによる救いの道を明らかにしてくれた光を、他の人々に伝えている姿をあちこちに見かけるであろう。そして、彼らは、ペンテコステの日のみ霊を受けた人々と同じように、その光を輝かしつづけるならば、み霊の力を更に多く受け、こうして地は神の栄光に輝くのである。」（患難から栄光へ上巻 50, 51）

個人的な復習問題

1. 偉大な任務は、どのように今日わたしたちにとって課題ですか。
2. なゼイエスが捕らわれ、十字架にかかられたとき、弟子たちは驚きに捕らわれたのですか。
3. 教育における聖霊の役割は何ですか。
4. 初期のクリスチャンたちは、聖霊の注ぎによって、どのように変わりましたか。
5. 再臨に先立って、世はどの教育を必要としていますか。

教育の諸原則

「主を恐れることは知恵のはじめである。これを行う者はみな良き悟りを得る。主の誉は、とこしえに、うせることはない。」(詩篇 111:10)

「わたしたちが教育を得る目的を、一瞬たりとも失うべきではない。それは能力の及ぶ限り、あなたがますます有用になり、そして他の人々を祝福することができるように、自分の機能を発達させ、それらを導くことである。」(教会への証 3巻 223, 224)

推奨文献： 教育 2-9

日曜日

7月7日

1. 知恵と知識の源

a. どこに真の知恵を見いだしますか(箴言 9:10; コロサイ 2:2, 3)。

「太陽系の月や星が、太陽の光を反射して輝くように、世の偉大な思想家たちは、彼らが真実であるかぎり、義の太陽である神の光を反射しているのである。思想のかがやき、知性のひらめきの一つ一つは、すべて世の光である神から出ている。」(教育 3)

b. 主は、死すべき人間に、どのようにご自分の知恵をお与えになりますか(箴言 2:6; 詩篇 32:8)。

「どういう方面の研究に従事しようと、真理に到達しようとの純粋な目的をもって、いるかぎり、われわれは、万物の中に働き、また万物を通して働いておられる目に見えない大能の神に触れるようになるのである。人間の思いは、神のみこころに交わり有限な人間が無限の神と交わるようになるのである。こうした交わりが、人の知、徳、体におよぼす影響には、測り知れない価値がある。」(同上)

2. 神の理想

- a. 神の方法は、どのようにわたしたちの方法と対照的ですか（イザヤ 55:8, 9）。このことは、教育におけるわたしたちのための神の理想に、どのように反映していますか。

「教育についてのわれわれの考え方は、あまりに範囲が狭く、またあまりに程度が低い。もっと広い識見ともっと高い目的がなければならない。真の教育は、ある勉学の課程を修めることよりもっと深い意味をもっている。それは、現世の生活のために準備すること以上のことを意味している。真の教育は、人間の知、徳、体に 関係があり、また人間に可能な限りの生存期間の全体にわたって関係がある。それは知、徳、体の能力の円満な発達を意味している。真の教育は、この世における奉仕の喜びと、さらにまたきたるべき世界におけるいっそう 広い奉仕の、より大いなる喜びのために、生徒を準備させることである。」(教育 2)

- b. ですから、真の教育の目標は何ですか（エペソ 3:14-19）。

「神がその子らにお望みになる理想は、人間の考えのおよばないほど高いものである。神のようになること、すなわち神のみかたちに似ることが、到達しなければならないゴールである。生徒の前には不断の進歩の道が開かれている。彼は成就しなければならない目的、到達しなければならない標準をもっている。そこには良いもの純粋なもの尊いもののいっさいが含まれている。彼は真の知識のあらゆる部門に、できるだけ早く、そしてできるだけ高く進歩する。しかし彼の努力は、天が地よりも高いように、単なる利己的物質的な利害よりもいっそう高い目的にむけられる。」(同上 8)

- c. わたしたちは何を目指すべきですか（エレミヤ 9:23, 24）。

「青年の教育と訓練は、重要にして厳粛な働きである。確保すべき偉大な目的は、品性の適正な発達であるべきである。それは個人が現世の義務を果たし、最終的に将来不死の生涯に入るのに正しくふさわしいものとなるためである。この働きがどのような方式でなされたかは、永遠が明らかにするであろう。牧師や教師が自分たちの責任を十分に自覚できるなら、今日世の中の事態が違っているのを認めることであろう。しかし、彼らの見解と目的はあまりに狭すぎる。彼らは自分たちの働きやその結果の重要性を自覚していない。」(教会への証 4 巻 418)

3. 神とのつながり

- a. 人はどのように創造されましたか(創世記 1:27)。どのような可能性を持ってですか。

『神は自分のかたちに人を創造された』としてされている(創世記 1:27)。神の御目的は、人が長く生きれば生きるほど、ますます、はっきりと神のみかたちをあらわすこと、すなわちなおいっそう明らかに創造主の栄光を反映することであった。……もし、彼が、神への忠誠心を変えなかったなら、この特権は、永久に彼のものとなったであろう。彼は、永遠にわたってたえず知識の新しい宝を手に入れ、幸福の新しい泉を見だし、神の知恵と力と愛についていよいよ明らかな概念を持ちつづけたであろう。アダムが、創造された目的を十分に果たせば果たすほど、創造主の栄光は、ますますはっきり反映されたであろう。

しかし、不従順のために、この特権は失われた。罪のために、神のみかたちは傷つけられ、ほとんど消えてなくなるばかりとなった。人の体力は弱くなり、知的な能力は低下し、霊的な眼はくもった。人間は死ななければならない身となった。しかし人類は、望みのない状態のままに捨ててはおかれなかった。限りない愛とあわれみによって、救いの計画がたてられ、生命の猶予があたえられたのである。人類を創造された神の御目的が実現されるように、人の中に創造主のみかたちを回復し、人を創造当初の完全な姿にもどし、知、徳、体の発達を促すこと、これが救済の働きとなるべきであった。これが教育の目的であり、人生の大目的である。」(教育 4, 5)

- b. どの願望が、すべての心を満たすべきですか(詩篇 86:11)。

「神のみかたちにかたどってつくられた人間のひとりびとりに、創造主の能力に近い能力一個性、すなわち、思考し行動する能力がさづけられている。……。この能力を発達させること、すなわち青年たちが、ただ単に他人の思想を反映する者とならないで、自ら思考する者となるように、彼らを訓練することが真の教育の働きである。人が書いたり、言ったりしたことばかりに、生徒の研究を閉じこめないで、彼らを真理の泉、すなわち自然と聖書の中に開かれている広い研究の分野に導かなければならない。

このような教育は、単なる知的な訓練以上のものをあたえ、また肉体的な訓練だけよりもまさったものをあたえるのである。それは品性を強くするので、真実や正直さが、欲望や世俗的な野心のために犠牲にされるといことがない。それは罪悪に抵抗する心を強める。……神のご品性の完全さを心に思い続けるとき、精神は新しくなり、魂は神のみかたちに再創造される。」(同上 6, 7)

4. 他の人々への奉仕

a. わたしたちが神を知るとき、何を体験しますか(ヨハネ第一 4:16, 19)。

「創造と救済の基礎となっている愛は、同時にまた真の教育の基礎でもある。このことは神が人生の指針としておあたえになった律法の中に明らかに示されている。第一の大きな戒めは、『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』である(ルカ10:27)。力をつくし、思いをつくし、心をつくして、限りない全能の神を愛することは、あらゆる能力の最高の発達を意味する。それはまた人の知、徳、体に神のみかたちが回復されなければならないことを意味している。」(教育5)

「神の恵みによって新しくされた心のうちでは愛が行為の原則となる。愛は品性を改変し、衝動を支配し、欲情を制し、また敵意をおさえ、愛情を高尚にする。この愛が心のうちに秘められ、あたりに高貴な感化を及ぼすのである。」(キリストへの道 77)

b. 神の愛は、わたしたちの他の人々との関係に、どのように感化を及ぼしますか(ヨハネ 13:34)。

「救い主がわたしたちに示されたのと同じ興味、優しさ、忍耐を他の人に表わさなければならない。『わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい』と、キリストは言われている(ヨハネ 13:34)。もしキリストがわたしたちの中に住んでおられるならば、日常接するすべての人にその無私の愛をあらわすはずである。同情や助けを要する男女を見ると、『あの人たちは価値があるだろうか』と問わず、『どうしたらあの人を助けることができるだろうか』と尋ねるだろう。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 136)

「サタンは自分の計画や諸原則を教育制度の中に織り込もうと、最も天才的な手法を用いてきた。こうして子供や青年たちの思いを強力につかんでいる。サタンの考案を阻止することが真の教育者の働きである。わたしたちは自分の子供たちを世ではなく、神のために育てるという厳粛にして神聖な神への契約の下にいる。彼らに自分の手を世の手中に置くことなく、神を愛し、おそれ、このお方の戒めを守るように教えるのである。彼らは自分の創造主のみかたちに形づくられているという思想、またキリストこそわたしたちがかたどられるべき型であられるという思想に印象づけられるべきである。もっとも熱心な注意は、救いの知識を与え、生活と品性を神に似たかたちに一致させる教育に払われなければならない。」(教会への証 6巻 127)

5. 完全な教育的計画

- a. 神のご計画には、何が必然的に伴いますか（テサロニケ第一 5:23）。
- b. イエスの幼少時代はこの完全さを、どのように例証していますか（ルカ 2:51, 52）。
- c. わたしたちは教育において、どのように成功することができますか（ローマ 12:1, 2）。

「人間が持っている心と魂とからだの種々の能力は、すべて神から授かったものであるから、それらを活用して最高にすぐれたものになさなければならない。しかし、これは、利己的で排他的修練ではない。なぜなら、われわれが、似ようとしている神の品性は、慈悲と愛に富んだものだからである。創造主が、われわれにお授けになったすべての能力とすべての性質は、神の栄光と同胞の向上のために用いなければならない。そして、このように活用することが、最も清く、最も気高く、最も幸福な活動である。

この原則の重要性を認めて、それに忠実に従うならば、現代の教育法のどこかに根本的变化が起こることであろう。……学生は、他を越えるためではなくて、創造主のみこころを実現し、神のかたち似るために、自分に与えられた神の賜物を伸ばそうとするであろう。」（人類のあけぼの下巻 258）

「人間を創造されたかたは、そのからだ心と魂の発達のために必要なものをお備えになった。であるから、教育の真の成功は、人間が創造主の計画を実行する忠実さにかかっている。」（同上 257, 258）

個人的な復習問題

1. 知恵の源をどこに見いだすことができますか。
2. 真の教育の目的は何ですか。
3. 各信徒のうちに、どの働きがなされるべきですか。
4. 教育は、どのように他の人々に仕えることを教えますか。
5. わたしたちの存在のどの部分が、完全な教育の中に含まれていますか。

教育のための本来の型

「主なる神は人を連れて行ってエデンの園に置き、これを耕させ、これを守らせられた。」(創世記 2:15)。

「天地が創造された時に定められた教育制度は、後世にいたるまで、人類の模範となるべきものであった。その原則を実地に示すものとして、人類の始祖の故郷であるエデンにモデル・スクールが設けられた。エデンの園が教室であり、自然が教科書であり、創造主ご自身が教師であり、人類家族の両親であるアダムとエバが生徒であった。」(教育 10)

推奨文献： 教育 10-12

日曜日

7月14日

1. 家庭

a. 初めの家庭と家族の配置はどのようなものでしたか(創世記 2:8; 1:28)。

「われわれの祖先の家庭は、その子供たちが地に住むためにひろがっていくときの、彼らの家庭の模範とならなければならなかった。神ご自身の手で飾られたその家庭は、豪華な宮殿ではなかった。高慢な人間は、広壯で高価な建物を好み、自分たちの手のわざを誇る。しかし、神は、アダムを園の中におかれた。これが、彼の住居であった。青空が屋根であり、美しい花と緑の草のじゅうたんを敷いた地が床であった。葉の繁った大木の枝が、天蓋であった。壁は、偉大な芸術家である神の作品によって、最も豪華に飾られていた。清い家族の環境は、すべての時代に教訓を教えている。つまり、真の幸福は、誇りとぜいたくにふけることにあるのではなくて創造のみわざによって神と交わることにあるということである。もし人間が、人工的なものに目を向けず、もっと単純さをつちかうならば、彼らは、神の創造の目的に接近することであろう。」(人類のあけぼの上巻 25)

2. 庭

- a. エデンは、わたしたちの最初の父祖にどの職業を提供しましたか（創世記 2:15）。これは今日わたしたちにとって、なぜ重要なのですか。

「家庭も機関も、土地の栽培と改善のために更に努力することを学ぶべきである。土地が季節に従って生じる地の産物の価値を人々が知りさえすれば、土地を耕すために、もっと勤勉な努力が払われるはずである。果樹園や農園から採りたての果物や野菜の特別な価値を、すべての者がしるべきである。」（食事と食物に関する勧告 291）

「子供に残すどんな財産よりもすぐれてよいのは健康な身体と健全な頭脳とりっぱな品性である。人生の真の成功は何によって手に入れるかを理解している人は遅くならないうちに賢くなる。そうした人は家庭を選ぶとき人生の最上のものを念頭におくのである。…

「気がちる都会の生活から離れ、子供とまじわれる場所、神のみわざを通して子供が神について学ぶことができる場所に行き、真実で有用な生涯を築くために子供を教育しなさい。」（ミストリ・オブ・ヒーリング 338, 339）

「都市に住んでいる両親に、主は警告の叫びを送っておられる、あなたがたの子らをあなたがた自身の家の中に集めなさい。神の戒めを無視している人々、悪を教え、実行している人々から彼らを離れさせ集めなさい。できる限り早く都市から出なさい。」（医事伝道 310）

- b. 実際の働きについて、神はわたしたちに何を教えて下さいますか（テサロニケ第一 4:11, 12）。

「神は、人の思いを占有し、体を強くし、諸機能を発達させるために、労働を人間にとって祝福となるようにお定めになった。精神的また身体的活動に、アダムは自分の聖なる存在の最高の喜びの一つを見いだした。」（信仰によってわたしは生きる 232）

「実地の働きによって、綿密な観察力と独自の考え方が養われる。実地の働きが正しくなされるとき、それはいわゆる常識という実際の知恵の発達に役立つ。また物事を計画し実行する能力が発達し、勇気と忍耐力が増し加わる。そこにはまた気転と熟練の働きが要求される。」（教育 261）

3. 学びの場所

a. エデンの環境が提供した教訓の中には何がありましたか(詩篇 19:1, 2)。

「目の前に生きた教課をくりひろげている自然という書は、〔わたしたちの最初の父祖の前に〕尽きることのない教訓と喜びの泉となっていた。神のみ名は、森の木の葉に、山々の岩に、またたく星に、地に海に空に、書きしるされていた。エデンの住民はそれらの被造物—生物でも無生物でも、木の葉、草花、樹木から巨大な水棲動物や太陽の光線にうかぶ微生物にいたるまで、すべての被造物と語り、その一つ一つから生命の神秘を学んだ。天に現われる神の栄光、秩序正しい運行をつづける無数の世界、『雲のつりあい』、神秘的な光と音、昼と夜、—そうしたすべてのものが、地上の最初の学校の生徒たちにとって研究の対象であった。」(教育 11, 12)

「人工的事物のみが見え、目にはいるもの、耳にきくものがしばしば悪念をいだけせ、そうぞうしさと混乱が疲労と不安を与えるような場所に住まないで神のみわざをながめることができる場所に行きなさい。自然界の美と静けさと平安の中に精神の安定を見いだし、緑の野、森、丘に目を休ませ、都市の塵埃や煤煙でくもっていない青空をながめ、気持を爽快にする天の空気を呼吸し…なさい。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 339)

b. 植物の成長の中に、どの教訓が提示されていますか(ルカ 12:27)。

「土地の耕作は筋肉を活動させ、思いを休ませる最上の種類の働きの一つである。農業分野における研究は、わたしたちの学校で与えられる教育の基礎であるべきである。これこそ、とりかかるときに最初の働きである。」(教会への証 6 巻 179)

「このように少年少女たちは、教師や教科書からいろいろな事からについて知識を得ると同時に、また自分自身で教訓をひきだし、真理をみわけけることを学ばなければならない。彼らが畑の仕事をしているときには、作物の世話からどんな教訓を学ぶかをたずねてみるがよい。彼らが美しい風景をながめているときには、神はなぜあんなに美しい変化のある色彩で森や野を装われたのか、なぜ全部うす暗い灰色に塗られなかったのかを尋ねてみるがよい。…自然界のいたるところに、われわれに対する神のみこころが現わされ、われわれの必要と幸福のためにすべてのものが驚くばかりにふさわしく造られていることに、彼らの目をむけるがよい。」(教育 128)

4. 礼拝の場所

a. エデンの住民は、日々、何をしましたか(創世記 3:8 (上句))。

「鳥の歌に、木々のささやきに、海の調べに、われわれは日の涼しいころエデンの園でアダムとお語りになった神のみ声をいまもきくことができる。こうしてわれわれは、自然界の中に神の力を見るとき、そこに慰めを見いだすのである。なぜなら、万物をおつくりになったみことばは、魂にいのちを語ることばだからである。」(各時代の希望上巻 361)

「ご自分の子らに関心をおよせになる父なる神は、自ら彼らの教育を指導された。聖天使たちは、神の使者として、たびたび彼らを訪れては、神の教訓と勧告を伝えた。日の涼しいころ、アダムとエバが園の中を歩いていると、よく神のみ声がきこえてきた。こうして彼らは、永遠の神と顔をあわせて交わりを続けた。」(教育 11)

「汚れなく純潔であったアダムとエバはエデンの光景と響きを楽しみ、神は彼らに園を『耕させ、これを守らせられた』(創世記 2:15)。毎日の労働は彼らに健康と喜びを与え、この幸福なふたりは創造主の訪問を喜んで迎えた。神は涼しいうちに彼らと歩み、語られ、日々教訓を与えられた。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 240)

b. 神の創造のただ中で礼拝することから、どの教訓を得ることができますか(ローマ 1:20; 詩篇 104:10-24)。

「自然は人類のための霊的な教訓に満ちている。花はただ新しい命に芽吹くために死ぬのである。そしてこのことから、わたしたちは復活の教訓を教えられる。神を愛するすべての人は、上なるエデンにおいて再び花開くのである。」(セレクトド・メッセージ 1 巻 291)

「悪に抵抗する勇気を養うような教訓を、子供たちに与えてやる必要がある。自然界から、自然を支配しておられる神へと、子供たちの目を向けさせてやりなさい。そうすれば子供たちは、創造主を知ることができるようになる。」(家庭の教育 37)

「親は自然の中に神を見るため、子供たちを戸外に連れ出よう。咲きおほ花や開きかけのつぼみ、高くそびえる樹木や美しい草の葉を見せて、神がすべてこれらのものを六日のうちにお造りになり、七日目に休んでその日をきよいものとされたことを、子供たちに教えよう。こうして親は教訓を子供たちに刻みつけ、子供たちが自然界を見るときに、それらすべてをお造りになった偉大な創造主のことを思い起こすようにさせてやりなさい。」(同上 581)

5. 祝福の水路

- a. エデンの川が園にとって祝福の水路であったように、どのように家族が世に対して祝福の水路になれますか(創世記 1:28; 2:10; マタイ 22:39)。

「創造と救済の基礎となっている愛は、同時にまた真の教育の基礎でもある。……愛の律法は、心と魂と肉体を、神と人類同胞への奉仕にささげるように要求している。この奉仕によって、われわれは、他人への祝福となり、同時にまた、われわれ自身の上にも、最も大きな祝福をもたらすのである。無我の精神は、すべての真の発達の基礎である。無我の奉仕を通して、あらゆる才能が最大限に啓発されて、われわれはますます深く神のご性質にあずかる者となる。われわれは心に天国を受け入れるので、天国にふさわしい者となるのである。」(教育 5)

- b. クリスマン家庭にどの使命が与えられていますか(コリント第二 3:2)。

「家庭の伝道はその家族だけにとどまらない。クリスマンの家庭は生活の真の原則がすぐれていることを実証する実物教訓でなければならない。そういう実証は社会を益する力となる。真の家庭が人の心や生涯に及ぼす感化はどんな説教よりも有力であって、青年がこういう家庭から出ていくとき、その教訓を他に伝え、一段と高尚な生活原則が外の家庭に紹介され、進歩向上に導く感化が社会に及ぼされるのである。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 326)

「世界が1900年前に必要としたもの、すなわち、キリストの黙示は今日も必要である」(同上 114)

個人的な復習問題

1. 何がエデンの園を家庭として特徴づけていましたか。
2. エデンの園の住民は、どのように仕事に従事していましたか。
3. エデンの教育制度は何でしたか。
4. エデンはどのように礼拝の場所を形成していましたか。
5. 初めの家庭、学校、教会から、あなたはどの教訓を得ましたか。

昔のイスラエルにおける教育

「主はこれを荒野の地で見だし、獣のほえる荒れ地で会い、これを巡り囲んでいたわり、目のひとみのように守られた。」(申命記 32:10)

「神が定められた生活の原則を固く守っている人々は、野や山に住んで、土地を耕し家畜を養った。労働と研究と瞑想の時間をもった自由な独立した生活の中にあつて、彼らは神について学び、神のみわざと道を子どもたちに教えた。これが、イスラエルの中に実行するようにと神が望まれた教育の方法であつて、彼らは神について学び、神のみわざと道を子どもたちに教えた。

これが、イスラエルの中に実行するようにと神が望まれた教育の方法であつた。」(教育 26, 27)

推奨文献： 教育 26-39

日曜日

7月21日

1. 父祖たち

a. 父祖として、アブラハムの模範を述べなさい(創世記 18:17-19; 12:6-8)。

「初期のころ、父親は家族の統治者であり、祭司であつて、子供たちが自分の家族をもつた後までも、彼らの上に権威をふるつた。彼の子孫は、彼を宗教上ならびに、政治上の首長として尊ぶように教えられた。この制度は神の知識を保存させるものであつたから、アブラハムは、この家長制度の組織を永続させようと努力した。各地に広く行きわたつて、深く根をおろした偶像礼拝に対する防壁を築くために、家族の全員をまとめることが必要であつた。」(人類のあけぼの上巻 144)

b. 父祖たちはどの生活様式をたどりましたか(ヘブル 11:8-10; 創世記 25:27)。

2. 荒野における教育

a. 主は、荒野においてイスラエルの教育をどのように導かれましたか（コリント第一 10:1-4; イザヤ 63:9）。

「イスラエルの教育は、主ご自身が指導された。彼の関心は、彼らの宗教的福祉だけに限られてはいなかった。彼らの知的、また体的幸福に影響を与えるものは、なんでも神の摂理の課題であり、神の律法の範囲内にあった。」(人類のあけぼの下巻 253)

「神は、食物をお与えになることでさえ、人々の最高の幸福を念願された。神が荒野で民をお養いになったマナは、体力、知力、道徳力を増進させる性質の食物であった。」(教育 31)

「ヘブル国民は荒野を旅する間、教育を受けた。彼らは身体的また精神的労働に携わった。彼らは自分たちの筋肉をさまざまな分野の働きに用いた。神の選民の荒野生活の歴史は、終わりの時代まで神のイスラエルの益のために年代記として記録されてきた。…主は荒野を通じて彼らがさまようままにうち捨てられなかったが、多くの者は主を捨てた。彼らがエジプトで受けてきた教育は彼らを誘惑と偶像礼拝、ぜいたくの下へ置いた。そして彼らが主の戒めを無視したがゆえに、エジプトを後にしたほとんどすべての成人が荒野で倒されたのである。しかし、彼らの子らはカナンに入ることを許された。」(ビュー・アズ・ハルト 1895年12月17日)

「宿営を張ることに関するすべては子供たちにとって実物教訓であり、彼らに正確さ、注意深さ、秩序の習慣のうちに教育した。十分に大きくなった子供たちは、自分たちの住む宿営をどのように張るかを学び、彼らのなすことはすべて完全な秩序を守るよう要求された。…絶えず彼らは天の事柄に関して教育を受けていた。絶えず、両親は自分の子供たちに、なぜイスラエル人は荒野を旅しているか、なぜ律法がシナイ山で与えられたか、そして自分たちが何をしよう期待され、また約束の地へ着いたときにどうあるべきかについて説明していた。」(彼を掲げよ 145)

「イスラエルは神が彼らのお与えになったまさにその経験を必要としていた。そしてキリストが荒野の長い旅程すべてを通じてなされたように彼らを扱うことのできる力は他になかった。イスラエルの教育はどの人にも任されなかった。彼らは知恵において無限であられるお方によって教えられた。彼らは日ごとに神が地上における教会にどうなるよう要求しておられるかについて学ぶ者であった。」(原稿リリース 18巻 234)

3. イスラエルのための神のご計画

- a. カナンでの定住において、イスラエルのための神のご目的は何でしたか (申命記 4:5-10; 11:22-24)。

「神はご自身の品性を人々に現すために、イスラエルの民をお選びになった。神はその民がこの世の救いの井戸となるようにお望みになった。彼らには天来のことば、神のみこころの啓示がゆだねられた。イスラエルの初期の時代に、この世の国々は墮落した習慣によって、神についての知識を失った。彼らは、以前に神を知っていた。しかし、『神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなった』のである (ローマ 1:21)。それでも神は、憐れみから彼らの存在を抹殺されなかった。神は選ばれた人々を通して彼らが再び神を知るようになる機会を与えようとなされた。犠牲の儀式に関するさまざまな教えによって、キリストはすべての国家の前にあがめられなければならなかった。そして、キリストをあがめる人々はみな生きるはずであった。」(患難から栄光へ上巻 5, 6)

「神は、道徳的罪惡の潮流をとめ、世界じゅうが洪水になるのを防ぐ防壁として、神の民をカナンにおかれた。」(人類のあけぼの下巻 189)

- b. この計画を実行するにあたり、彼らはどのように事を運びましたか (士師記 2:7, 10-12; 1:28)。

「主は、ご自分がイスラエルになされた約束を忠実にお果たしになった。ヨシュアは、カナン人の力をくじき、国土を部族の間に分配した。あとは、彼らが神の援助の確証を信頼して、土地に住んでいる住民を追い出す仕事を完成すればよかった。しかし、彼らはそれをしなかったのである。彼らは、カナン人と同盟を結んで、神の命令に直接反逆し、そうすることによって、神が彼らにお与えになったカナン所有の約束の条件を履行しなかった。」(同上 188)

「イスラエルの中で、教育について神のご計画が実行されているところではどこでも、その結果は創始者たる神をあかしした。しかし、大多数の家庭では、天から指示された教育も、またその教育を通しての品性の発達もみられなかった。神のご計画は部分的にそして不完全に実行されたにすぎなかった。イスラエル人は神の指導を信じないで、これを無視したために誘惑にとりかこまれたが、これに抵抗する能力のある者はほとんどなかった。」(教育 40)

4. 預言者の学校

- a. 預言者の学校の存在に言及していることから、わたしたちはその性質と運営について何を学ぶことができますか (サムエル上 19:18-20; 列王紀下 6:1-7)。

「預言者の学校は、腐敗が広がるのを防ぐ防壁としてサムエルが創立したもので、青年の道徳的、靈的幸福に貢献し、指導者や助言者として、神をおそれて行動する資格のある人物を養成して、国家の将来の繁栄に資するためであった。サムエルは、この目的を達成するために、神をおそれ、知的で勤勉な青年を多く集めた。彼らは預言者の子と呼ばれた。彼らが神と交わり神の言葉と神のみわざを学んだときに、彼らの生来の賜物に天の知恵が加えられた。教師は、神の真理によく通じているばかりでなくて、自分たち自身が神との交わりを経験し、神の靈の特別な賜物を受けた人々であった。彼らは、学識と信仰の両面において、人々の尊敬と信頼を勝ち得ていた。」(人類のあけぼの下巻 255)

「研究の主要科目は、モーセに与えられた指示を伴う神の律法、聖史、神聖な音楽と詩であった。すべての研究の大目的は、神のみ旨とその民の義務を学ぶことであった。聖史の記録に、エホバの足跡をたどった。過去の出来事から、将来のための教えの教訓が得られた。モーセの律法の型と影によって偉大な真理が見えるようにされ、信仰はその制度すべての中心的な対象、すなわち世の罪を取りのぞく神の小羊をつかんだ。」(クリスチャン教育の基礎 97)

- b. イエスは、この地上におられたとき、どのような手作業の訓練を受けられましたか (マタイ 13:55)。預言者の学校の生徒たちについてはどうですか。

「これらの学校の生徒たちは、農夫や機械工としての自分自身の労働によって自活した。イスラエルにおいてこれは奇妙なことや品位を落とすことだとはみなされなかった。子供たちを有益な労働を知らないまま成長させることは犯罪だと見なされた。神の戒めに従って、すべての子供は、彼が聖職のために教育を受けるべき者であつても何らかの手仕事を教えられた。」(同上)

5. 高尚な模範

a. 神はヨセフが大変な逆境に耐えた後、彼の高潔さと信仰をどのように報われましたか(創世記 37:28; 41:41-44)。彼にはどの準備がありましたか。

「ヨセフは純粋で、活動的で、歓喜にあふれていた。そして、道徳的にも真剣で堅固な性質をあらわしていた。彼は、父親の教えに耳を傾け、神に従うことを愛した。後年エジプトに行ったとき、彼のうちに著しくあらわれた柔和、忠誠、誠実などの特性が、すでに彼の日常生活のなかに見られた。」(人類のあけぼの上巻 228)

b. ダニエルの背景を述べなさい。ダニエルの生涯は信心深い教育の恩益をどのように表していますか(ダニエル 1:1-6; 6:1-3)。

「ヨセフとダニエルは、知恵と公平を表わし、日々純潔で情け深い生活をおくり、民のため、しかも偶像教徒である民の利害のために、献身的な努力をささげることによって、幼いころにしつけられた原則にそむかず、自分の代表している神に忠実であることを立証した。彼らは、エジプトでもバビロンでも、全国民から尊敬された。これらの異教国民やその他、このふたりに関係のあつたすべての国民は、ふたりの中に神の恩恵といつくしみについての実例を、またキリストの愛についての実例をみたのであつた。神は、これらの人物を通して表わされた同じ偉大な真理を、今日の青年男女を通して表わそうと望んでおられるのである。ヨセフとダニエルの歴史は、神に献身し、全心全霊をもって神の御目的を成就しようと努力する人々に対して、神がどのようなことをなさるかということの生きた例である。」(教育 53, 54)

個人的な復習問題

1. 父祖たちはどの生活様式を選びましたか。それはなぜですか。
2. 荒野においてイスラエルは、なぜそのように広範囲な教育を必要としていたのですか。
3. 神のご目的と、イスラエルが実際に到達したことは、どのように対照的でしたか。
4. 預言者の学校において、何が重要な要素として存在しましたか。
5. 教育のための神のご目的は、どのようにわずかな気高い人物の生涯において輝き出しましたか。

第一安息日献金 伝道学校のために

「全世界へ出て行って、すべての国民を教えよ」との主の任務に従うことを愛して、セブンスデーアドベンチスト改革運動は、この任務をなし遂げるにふさわしい働き人を準備するために奮闘しています。

伝道学校はこの準備のための主要な手段の一つです。これらの学校は世界の様々な地域に設立されつつありますが、特に「現代の真理」においてわたしたちの青年を教え、この真理が他の魂に最上の方法で提示され得ることに焦点を当てています。

「真の教育とは伝道者を養成することであって、神のむすこ、娘はすべて伝道者となるように召された者である。わたしたちは神と人々とに奉仕するために召されている。そしてこの働きに適した者となるのが、わたしたちの教育の真の目的でなければならない。」(ミニストリー・オブ・ヒーリング 364)

この教育の働きを実行することによって、二重の利点を得ることができます。真面目で飢え渴いている魂が益を被るだけでなく、使命者もまた、彼ら自身強められ、神とのより緊密なつながりに導き入れられます。

「青年たちが現世における有用性のために、また永遠を通じて神の奉仕のためにふさわしい者となる学校を設立してきたのは、彼らを敵の誘惑に対して強くするためである。」(両親、教師、生徒への勧告 495)

主の使命者はこのような種類の活動を推奨し、信徒たちが受け入れられる奉仕としてこの働きに携わるように奨励しています。

「無知で滅びつつある人々のために労することができるように、知識を得ようと奮闘している人は、人類に対する神の偉大なご目的を成就するために自分の分を果たしているのである。他の人々を祝福するための無私の奉仕において、彼はクリスチャン教育の高い理想に込めている。…

主は、強く献身した自己犠牲的な青年男女、すなわち前戦へと押し進み、短期間を学校で過ごした後、世界にメッセージを伝えるために準備して出て行く青年たちを召しておられるのである。」(同上 545, 549)

ですから、世界中のすべての兄弟がたに訴えます。この必要に心を開いてくださり、この目的のために献金が集められる安息日に、報いある神のみ働きのこの分野の発展のために惜しみなく捧げて下さい。

前もってお礼申し上げますと共に、神様が捧げものと捧げる人を祝福して下さいますように。



世界総会教育支部から皆さんの兄弟より

偉大な教育者

「人々は、その教に驚いた。律法学者たちのようにはなく、権威ある者のように、教えられたからである。」(マルコ 1:22)

「〔イエスは〕世がかつて見たことも聞いたこともないような教師であられた。このお方は権威ある者のように語られ、それでいながら、すべての人の信頼を引き出されるのである。」(ヘレテッド・メッセージ 3 巻 138)

推奨文献： 教育 73-85

日曜日

7月28日

1. イエスの初期の生活

a. 聖書は、イエスの初期の生活をどのように描写していますか (ルカ 2:40, 52)。

「わたしたちの模範となり、教師となるために天からおいでになったイエスは、ナザレにおいて家庭の一員として三十年の歳月を送られた。その年月について聖書の記録は非常に簡単である。偉大な奇跡が人間の注意をひいたわけでもなく、熱心な群衆が跡をしたったり、彼の言葉に聞きいったのでもなかったが、この間、キリストは神の使命を果されていたのである。キリストはわたしたちのように家庭生活にあずかり、家庭的訓練に服従され、義務を果し、その重荷を負われた。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 323)

b. どのように、イエスの大工としての慎ましい評判は、すべての青年にとって模範ですか (マタイ 13:54-56)。

「イエスが子供や青年たちの模範であったのは、その家庭生活においてであった。救い主は、われわれがいやしい身分であっても、神とともに親しく歩むことができることを教えるために、おそれ多くも自ら貧しい者となられた。イエスは日常の平凡なことにおいて天父をよろこばせ、あがめ、そのみ栄えをあらわすために生活された。イエスの働きは、日々の食物のために骨折って働く職人のいやしい手仕事を神聖にすることから始められた。」(各時代の希望上巻 68)

2. イエスとバプテスマのヨハネの教育

a. イエスの教育について尋ねられた質問の中で意味していたことは何でしたか(ヨハネ 7:15)。

「救い主の公生涯の間にたずねられた質問、『この人は学問をしたこともないのに、どうして律法の知識をもっているのだろうか』ということばは、イエスが読み書きがおできにならなかったということではなくて、ただラビの教育をお受けにならなかったということである(ヨハネ 7:15)。イエスは、われわれと同じようにして知識を得られたのだから、彼が聖書に精通しておられたということは、少年時代にどんなにまじめに神のみことばを学ばれたかを示している。」(各時代の希望上巻 61)

「イエスの教育は天が定められたものから学びとられ、有用な仕事、聖書研究、自然界、ならびに生活の体験から得られたものであった。こうしたものは自ら進んで働く腕と、ものを見る目と理解する心を養成し、万人に対する教訓にみちている神の教科書である。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 369)

b. なぜ、イエスとバプテスマのヨハネは、当時の学校に出席しなかったのですか(マタイ 15:9)。

「わたしたちの救い主がだれも当時のラビの学校に行くことを奨励されなかったのは、彼らの思いが絶えず繰り返される『彼らが言っている』、『そう言われてきた』によって墮落するようになるという理由からであった。そうであれば、なぜわたしたちはより偉大で確かな知恵がわたしたちの手の届くところにあるときに、高められた知恵として人の不安定な言葉を受け入れるべきであろうか。」(教会への証 8 巻 310)

「ラビの学校で学んだ者でなければだれも宗教教師の資格があるものとみなされなかった。イエスとバプテスマのヨハネは、この教育を受けていなかったので、無学の者といわれていた。」(各時代の希望中巻 233)

c. ヨハネは、彼の説教と生活様式において、どの模範を残しましたか(マタイ 3:1-4)。

「しかし〔ヨハネ〕は自ら進んで人生の享樂とぜいたくを捨ててこのきびしい荒野の訓練をえらんだ。ここでは彼の環境は質素と克己の習慣にとって都合がよかった。うるさい世間にじゃまされないで、彼はここで自然と啓示と神について教訓を学ぶことができた。」(各時代の希望上巻 101)

3. 教師の頭

a. イエスの偉大な山上の垂訓の結果は何でしたか(マタイ 7:28, 29)。

「イエスは、ユダヤ人の間でいろいろ意見の異なっている問題には関係されなかった。真理を示すことがイエスの働きであった。イエスのみことばは、父祖たちと預言者たちの教えを豊かな光で照し、聖書は人々にとって新しい啓示となった。イエスの聴衆は、これまでにかつてなかったほど神のみことばに深い意味をみとめた。」(各時代の希望上巻 316)

「キリストは、このようにして真理をおおい隠していたものを取り除こうとされた。キリストが来られたのは、罪が自然の上に投げかけた幕を開いて、万物が造られたときに反映することになっていた霊の栄光をあらわすためであった。」(キリストの実物教訓 3)

b. イエスの教育方法は、弟子たちにどのような効果を及ぼしましたか(使徒行伝 4:13)。

「三年半のあいだ、弟子たちはこの世に知られた最も偉大な教師、キリストの指導を受けた。キリストは個人的な接触や交わりによって、ご自身の働きのために彼らを訓練された。毎日彼らは、疲れている者や重荷を負っている者に語りかけておられるキリストの励ましのことばを聞き、また、病人や苦しみ悩む者にみ力を現されるのを見ながら、キリストと共に歩き、そして語った。時には、主は弟子たちと共に山腹に腰をおろして彼らに教えられた。またある時には海辺で、あるいは道を歩きながら神の国の奥義をお示しになった。人々の心が開かれて、神の使命が受けいれられるところではどこでも、主は救いの道についての真理を明らかにされた。主は弟子たちにこれをせよ、あれをせよとお命じにならず、ただ『わたしについて来なさい』と言われた。キリストは人々に教えるご自身の方法を弟子たちに見学させようと、田舎や都市への旅に彼らを伴って行かれた。……弟子たちは主の全生活を見たのである。」(患難から栄光へ上巻 9, 10)

「主が神の国を宣べ伝えさせるために十二人を送り出し、後に七十人を送り出されたのは、主が弟子たちにお教えになった事を、他の人々に伝える義務があるのだということをお教えになるためであった。主はご自身のすべてのみわざの中で、個々の働きから彼らの仲間が増えるにしたがって働きをひろげ、最後には地上のすみずみにまで達するように、弟子たちを訓練しておられたのである。」(同上 26)

4. イエスが教えられた方法

- a. イエスはご自分の聴衆をしばしばどこでお教えになりましたか（マタイ 5:1, 2）。
このお方は、周囲の環境やなじみ深いものをどのようにお用いになりましたか。

「イエスは、すべての人の心に通じる道をおさがしになった。彼は、さまざまな例話をお用いになることによって、真理の種々な面のことを説明するばかりでなく、異なった聴衆に訴えられたのである。人びとの日常生活の中からひかれた比喻（ひゆ）に、人びとは興味を持った。……

神の知恵と無限の恩恵とが、神の創造されたものによって明らかにされた。自然と人生の経験を通して、人は神について教えられた。」（キリストの実物教訓 5, 6）

「イエスは人々を教えられた時、たびたび周囲の自然界からたとえをひき、それによって教えを興味深くし、聴衆の注目を集められた。」（祝福の山 48）

「主がイスラエルの民族をご自分の特別の代表者とするために訓練なされたとき、住居として彼らにお与えになったのは、山地や谷間であった。彼らの家庭生活と宗教的行事とは、常に彼らを自然と神のみことばとに接触させた。そのように、キリストも弟子たちを湖畔や山腹、または原野や森林に導かれたので、弟子たちはお教えの中で引用される自然の事物を目の前に見ることができた。彼らは、こうしてキリストから学んだ知識を実際に活用して、主と協力して働いた。」（キリストの実物教訓 7）

- b. イエスはしばしばどの特別な教育の技術をお用いになりましたか（マタイ 13:34, 35）。

「キリストのたとえの中には、キリストご自身がこの世界に対して持つておられた使命と、同じ原則を見ることができる。キリストは、わたしたちの性質をとって、わたしたちの間にお住みになった。それは、キリストが持つておられた神の性質と命とを人間が知ることができるためであった。神性が、人性の中に啓示されたのである。目に見えない栄光が、人間の姿の中にあらわされた。人間は、未知のものを、すでに知っているものによって学ぶのである。天のものが、地上のものによって啓示された。神が、人間のかたちの中にあらわされた。キリストの教えにおいてもそのとおりであった。未知のことが、既知のことによって説明された。人びとが一番よく知っている地上のことによって、神の真理が明らかにされた。……

自然のものが、霊的のものとの媒介となった。自然界のものや、聴衆の人生経験が、みことばの真理に結びつけられた。」（同上 1, 2）

5. イエスの聖句の用い方

- a. イエスはエマオへの途上で、二人の弟子たちを啓発なさるために、どのように選ばれましたか(ルカ 24:25-27)。

「キリストは、聖書の歴史のアルファであるモーセの書から始めて、聖書全体を通じて、ご自身に関する事柄を解説された。もしキリストが最初にご自分を彼らにお知らせになったら、彼らの心は満足してしまったであろう。よろこびのあまり、彼らはもう何も求めなかったであろう。彼らは、旧約の型と預言を通して、キリストについてたてられているあかしを理解する必要があった。これらのものの上に彼らの信仰が築かれねばならない。キリストは、彼らをさとらせるのに奇跡を行なわず、聖書を説明することがその最初の働きであった。彼らは、キリストの死を彼らのすべての望みの消滅とみなしていた。ところがイエスは、ご自分の死こそ、彼らの信仰の最も強力な証拠であることを預言者の書からお示しになった。」(各時代の希望 下巻 333, 334)

- b. イエスは、どのように絶えず聖書へと注意を引き戻されましたか(ヨハネ 5:39; 17:17; ルカ 16:31)。

「真理の教師としてのキリストの働きは、当時のラビたちの働きとは、著しく異なっていた。彼らは、伝説や人間の理論や推論などを強調していた。人間がみことばについて教えたり書いたりしたことを、みことばそのものの代用にしたこともしばしばあった。彼らの教えには、魂を生かす力はなかった。キリストの教えと説教の主題は、神のことばであった。イエスは質問する人に、『…と書いてある』『聖書に何とあるか』『あなたはどうか読むか』などとおおせになった。」(キリストの実物教訓 15)

個人的な復習問題

1. 世の最も偉大な教師は、ご自分の地上での初期の生活をどのように過ごされましたか。
2. イエスやバプテスマのヨハネであれば、今日学校に出席するでしょうか。説明しなさい。
3. イエスの教え方は、当時の有名な教師たちとどのように違っていましたか。
4. イエスの教え方や真理の例示の方法をいくつか述べなさい。
5. なぜキリストにとって、弟子たちの信仰を神のみ言葉に確立することが命に関わるほど重要だったのですか。

真の教育の基礎

「主を恐れることは知恵のもとである、聖なる者を知ることは、悟りである。」(箴言 9:10)

「神のみ言葉は教育のもっとも強力な手段と、また同様に、人の手に届く知識の最も価値ある源を提供する。」(レビュー・アンド・ヘルド 1883年9月25日)

推奨文献： 教育 132-137

日曜日

8月4日

1. あなたに対する神のみ言葉

a. 神はどのように人類と伝達なさいますか (アモス 3:7; ペテロ第二 1:20, 21)。

「教育する力として、聖書に匹敵するものはない。心は、神のことばの中に最も深遠な思想と最も崇高な熱望の主題を見いだす。…それは、人間の研究によっては、見通すことのできない遠い過去を照らし出している。…神の言葉に示された真理を敬虔な心で瞑想するとき、学生の心は、無限の心との交わりに入れられる。」(人類のあけぼの下巻 259, 260)

b. 聖書の本質のいくつかは何ですか (テモテ第二 3:16; 詩篇 12:6, 7)。

「神はご自分のみ言葉を人々の記憶に保存されたり、口伝えや伝統的な公表によって世代から世代へ渡されたりするがままにはなさらなかった。もしそうされていたら、み言葉は徐々に人によって付け加えられてきたことであろう。…神の記されたみ言葉のゆえに、神に感謝しようではないか。」(上を仰いで 52)

「聖書は、人間が所有する最も教訓の豊かな歴史である。それは、永遠の真理の根源から直接与えられたものである。そして、神のみ手が各時代を通じて、その純粋性を保持してきた。」(人類のあけぼの下巻 259)

2. 聖書を理解する

a. 聖書は何につながっていますか (詩篇 119:105)。

「神はこの地上に、聖書、そしてただ聖書だけをすべての教理の基準、すべての改革の基礎として保持する一つの民を、お持ちになるであろう。学識者の意見、科学の推論、教会会議の定めた信条や決議（これらは、教会の数が多くてその主張も違うように、おびたしい数にのぼって内容も千差万別である）、大衆の声、—これらのうちの一つであれ全部であれ、それをもって信仰上の事柄に関する賛否の根拠と見なしてはならない。どんな教理や戒めでも、それを受け入れる前に、『主はこう言われる』という明日な事実をその裏づけとして要求すべきである。」(各時代の大争闘下巻 360～361)

b. み言葉はどのように説明されますか (イザヤ 28:10; ルカ 24:27; マタイ 4:4)。

「聖書の教えを理解しようとする心がけさえあれば、その一節を読むだけで必ず何か有益な思想を得ることができる。しかし時々思い出したように断片的に聖書を研究したのでは、その最もとうとい教えを得ることは不可能である。聖書を急いで不注意に読む人は、そこに提示されている大きな真理の体系を認めることができない。真理の宝の大部分は、表面下に深くうずもれていて、熱心な探求とたえまない努力によってのみ、これを手に入れることができる。われわれは大きな全体を構成しているところの数々の真理を、『ここにも少し、そこにも少し』(イザヤ 28:10) さがし出して集めなければならない。」(教育 132)

〔ウィリアム・ミラー〕は、すべての先入観を捨てようと努め、注解書を用いないで、欄外の引照とコンコードダンス(用語索引)を参考にして、聖句と聖句とを比較した。彼は、規則正しく組織的に研究を続けた。まず創世記から、一節ずつ読んでいき、数節の意味が、なんの疑念もなくはっきり理解されるまでは先に進まなかった。何か不明瞭なところがあると、彼は、その問題点に関係があると思われる他の聖句を全部比較してみるのであった。すべての言葉は、その聖句の主題に対して適正な意味を持つものとし、もし彼の見解が、すべての関連した聖句と一致するならば、それで問題は解決するのであった。こうして彼は、理解することが困難な聖句に直面すると、聖書の他のところにその説明を見いだした。」(各時代の争闘下巻 5)

3. 聖書を調べる

a. わたしたちは絶えず、聖書をどうすべきですか (ヨハネ 5:39)。

「聖書を研究するのに、自分の先入観に合うようにことばを解釈しようとするのではなく、キリストの信仰の土台となる教理を理解しようとする初心者として学ばなければならない。」(安息日学校への勧告 23)

b. 神のための働き人として、わたしたちは自らこのお方を深く理解するために、どのように準備すべきですか (ペテロ第一 3:15)。

「聖書研究の知的な価値は、真理をさがし出してこれを集めることだけにあるのではない。それは提示されたテーマを把握するのに必要な努力の中にもある。日常の平凡事にばかり心を奪われていると、心はいじけ、衰弱する。崇高かつ遠大な真理を理解するために心を働かせなければ、それはついには発達の能力を失ってしまうであろう。心の退化を防ぎ、その発達を促すには、神のみ言葉の研究にまさるものはない。知的な訓練の方法として、聖書は他のどんな本よりも、また他のすべての本を合わせたよりも効果がある。」(教育 133)

「〔ダニエルと三人の友達〕の神の訓練の下で厳密な努力は、豊かに報われた。彼らが知識を得るための勤勉な努力をしている間、主は彼らに天来の知恵をお与えになった。彼らが得た知識は、厳しい場所に導き入れられたとき、彼らにとって大いに役に立った。主なる天の神は、精神的また霊的怠惰の結果生じた欠乏を満たされることはない。人間の代理人が、知識を得るために自分の機能を働かせるとき、深く考える人となる。彼らが、神と真理のための最も偉大な証人として、魂の救いに関して命に関わる教理の調査の分野で勝利するならば、最高のお方として天の神に栄光が帰され、そのときには裁判官や諸王たちでさえ、裁判所や国会や議会で、天地を造られた神こそ唯一まことの生ける神、キリスト教の創始者、あらゆる真理の創始者であられること、世の基が据えられ、明の星が相共に歌い、神の子らが喜び呼ばわったときに、第七日目の安息日を制定されたお方であることを認めるようになる。」(クリスチャン教育の基礎 374, 375)

4. 光を前進させる

a. 神はどのようにご自分の民に新しい光を明らかにし続けられますか（箴言 4:18）。

「だれ一人として、これ以上現される真理はないと決めてはならない。……まだまだ多くの宝石が散らされている。それを集め、神の残りの民の財産としなければならない。」（安息日学校への勧告 33）

b. わたしたちが持っている光を、どうしなければなりませんか（テサロニケ第一 5:21）。

「わたしたちは、主がわたしたちを導いてこられた道を忘れず、過去の歴史においてこのお方の教えを忘れない限り、将来に対して何の恐れもない。」（ライフ・スケッチ 196）

「多くの人々は自分の聖書についてほとんど知らないために信仰に安定がない。彼らは古い地境を動かし、誤謬と教理の風が彼らをあちらこちらと吹き回すのである。」（伝道 362）

「セブンスデーアドベンチストの民を今の彼らにした真理の境界線は弱められてはならない。わたしたちには真理の古い地境、経験、そして義務がある。そしてわたしたちは世が注目してきている中で、自分の諸原則を擁護して堅く立つべきである。」（教会への証 6 巻 17）

「神の力が、何が真理であるかについて証するとき、その真理は永遠に真理として立たなければならない。神が与えてこられた光に反する後から思いついた推測を心に抱いてはならない。…一人が立ち上がり、またさらに別の者が、神の聖霊の現れの下に神が与えてこられた光と矛盾する新しい光をもって立ち上がるであろう。」（著者と編集者への勧告 31, 32）

c. 福音の働きのためにわたしたちにはどの準備が必要ですか（ヘブル 5:11-14）。

「わたしたちは、熱心な祈りと深く真剣な探求を通して、信仰に確立し、定着し、根ざし、信仰を基としなければならない。そして各自自分で、わたしたちには真理があることを知らなければならない。もしわたしたちがこのように確立するなら、わたしたちはテストされ、試されるときに、ある人々がしてきたように信仰から離れることはない。」（ビュー・アンド・ヘルド 1888 年 9 月 4 日）

5. 共に研究する

- a. 安息日学校において、どのような教育的環境を必要としていますか（テモテ第二 2:15）。

「事実上、わたしたちの安息日学校は聖書研究会である。神のみことばの真理をおしえるこの聖なる働きを通して、わたしたちはこれまで成し遂げたよりも、はるかに偉大な働きを成し遂げることができる。」（安息日学校への勧告 3）

「神の働きのどの方面の教師に召されても、あなたはキリストの学校に学ぶ者として召されているのである。もし他人を教える神聖な責任を引き受けるならば、あなたは自分が教えようと思うあらゆる問題の底まできわめる責任を負わなければならない。安息日学校で、ある問題を神のみことばによって生徒に示す場合、自分の信じる理由を、生徒が真理と納得できるようにはっきりさせなければならない。忠実に研究して、神が教会にお送りになったメッセージを神のみことばの証拠と照らし合わせ、自分自身で何が真理であるかを知り、あなたに頼る人々を義の道に導くことができるようであればならない。」（同上 30）

「教師の働きにたずさわる者や責任ある地位に召されたものは、他の人の研究の結果に満足していないで、自分自身で真理を研究しなければならない。真理の問題を自分で研究する習慣を養わないと、その人の生活も知識も表面的なものになってしまう。……自分が信じるようになった真理を良く調べて、その真理については非の打ちどころがないというまでにならなければならない。」（同上 32）

個人的な復習問題

1. 神のみ言葉が書き記されたことは、なぜそれほど重要ですか。
2. 聖書の真理の理解に到達するために、どのように研究すべきですか。
3. 深い聖書研究から、どの精神的また霊的恩益を引き出すべきですか。
4. 神はご自分の民をどのように教え続けておられますか。
5. どのようにわたしたちの教育的環境を向上させることができますか。

教師になるために

「あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない錬達した働き人になって、神に自分をささげるように努めはげみなさい。」(テモテ第二 2:15)

「教師は自分の生徒たちを、羊飼いが自分の責任下に委ねられた羊を見るように見守るべきである。彼らは自分たちが説明を求められる魂として、彼らに心を配るべきである。」(両親、教師、生徒への勧告 65)

推奨文献： 教育 324-332

日曜日

8月11日

1. 教師の資質

a. 教師は生徒を何に導くべきですか(コリント第一 11:1)。

「教師は、生徒に書物の知識を与える以上のことをしなければならない。青年の案内者また指導者としての彼らの立場は、最も責任のあるものである。なぜなら、彼らには思いと品性をかたちづくる働きが与えられているからである。この働きを引き受ける人々は、良く均衡が取れ、釣り合いの取れた品性を持っていなければならない。彼らは態度において精錬され、衣服がきちんとしていて、自分のあらゆる習慣において注意深くあるべきである。そして彼らは信頼と尊敬を勝ち取る真のクリスチャンの礼儀を持っているべきである。教師は自ら、生徒になって欲しいと思う存在であるべきである。」(サイン・オブ・ザ・タイムズ 1900年3月14日)

b. どの霊的な経験が必要ですか(申命記 10:12)。

「すべての教育者は日ごとに偉大な教師からの指示を受けるべきであり、絶えずその導きの下で労するべきである。彼が祈りの内に多く神と共にいるのでない限り、自分の働きを正しく理解し、実行することは不可能である。神聖な助けによってのみ、真剣な自己否定的努力と結びついて、彼は自分の立場を賢明に十分果たすことを望めるのである。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1885年9月22日)

2. 教えるために備える

- a. 神のみ言葉に対して教師の態度はどうあるべきですか。何の目的のためですか(ペテロ第一 2:2)。
- b. 神の教会における指導者たちは、神から何を引き出すべきですか(詩篇 145:15)。彼らはこれをどうすべきですか。

「主を見ている人々」は、主が戸口におられることを知っているの、魂の救いのために天使たちと協力して働くように熱意をよび起こされる。こういう人たちが主の家族に、『時に応じて定めの手配をそなえさせる忠実な思慮深い』しもべたちである(ルカ 12:42)。彼らはいま特にあてはまる真理を宣べ伝えている。(各時代の希望下巻 103)

「神の前におけるわれわれの立場は、われわれが受けた光の量によってきまるのではなく、われわれが持っているものをどう用いるかによってきまるのである。だからたとえ異教徒であっても、みとめることができるかぎり正しいことをえらぶとき、彼らは、大きな光を与えられて、神に仕えたと公言しながらその光を軽視し、その日常生活が告白と矛盾しているような人たちよりも、好ましい状態にあるのである。」(各時代の希望上巻 295, 296)

- c. 聖書を調べることに、ベレアの人々の模範は何でしたか(使徒行伝 17:11)。

「ああ、聖なる事柄において奉仕する人々が目覚めて、高尚なベレアの人々のように、日々聖書を調べるならば!牧会にいる兄弟がたよ、わたしはあなたがたに理解する心を求めて謙遜な祈りを捧げ、聖書を研究するようにと嘆願する。それはあなたが命の道をもっと完全に教えることができるためである。あなたの勧告、祈り、模範は命から命へ至る香りでなければならぬ。さもなければ、あなたは他の人々に命の道を指し示す資格がない。」(教会への証 2 巻 343)

「成人男女、青年方よ、神はあなたがたが道徳的勇氣、目的の堅固さ、不屈の精神と辛抱強さを持つように要求しておられる。受け入れたり拒否したりする前に自分自身で調べることがなければ、他の人々の主張を受け入れることのできない思い、すなわち証拠を研究し測り、それを祈りの内に主に持っていき思いを持つように要求しておられるのである。」(同上 130)

3. 教えるための精神的な準備

- a. 真理を他の人々に分け与えるための準備において、神に何を与えて下さるよう、求めるべきですか（コロサイ 1:9、ヤコブ 1:5）。

「必ず、毎日一定の時間を割り、聖書研究及び神との交わりのためにとっておきなさい。こうしてあなたは霊的な力を得、神の恩寵のうちに成長する。あなたに高尚な大志を与えうるのは、神だけである。このお方だけが神のみかたちに従った品性をかたちづくることがおできになる。熱心な祈りの内に神に近づきなさい。そうすればこのお方はあなた方の心を高く聖なる目的と、純潔と明白な思想を求める熱望で満たして下さる。」（福音宣伝者 138）

「魂の救いのために効果的に働こうと願う牧師たちは、聖書を学ぶ生徒であり、また祈りの人でなければならない。他の人々に教えようとする一方で、み言葉の研究を怠ることは、罪である。魂の価値を感じる人々は、自分たちの神聖な知識の向上に関してあえて不注意であることにはあまりに多くが危険にさらされていることを自覚し、彼らは真理の要塞へのがれ、そこで神のみ働きをなすための知恵、知識、強さを得る。彼らは上よりの聖油なしに安んじることをしない。」（同上 136, 137）

- b. 適切な準備をせず、霊的に安定しない人々は、どのような危険に直面しますか（ペテロ第二 3:16）。

「牧会に入るある人々は働きの重荷を感じない。彼らは牧師の資質について誤った考えを抱いている。彼らは牧会にふさわしい資格を得るために、厳密な科学の研究、つまり神のみ言葉の厳密な研究はほとんど要求されていないと考えている。現代の真理を提示しているある者は、聖書の知識にあまりに欠乏しており、聖句を正しく記憶から引用することが難しい。彼らの見苦しいやり方でなかなか進まないことによって、神の御前に罪を犯す。彼らは聖書をねじまげ、聖書には記されていない事柄を聖書の語っていることにする。

ある人々は人が御霊を持っていれば、教育や聖書の徹底的な知識はそれほど重要ではないと考えている。しかし、神は無知を承認するために聖霊を送られることは決してない。このお方は教育を得ることが不可能な状況に置かれている人々を憐れみ、祝福することはおできになる。そしてときには、彼らの弱さのうちにご自分の強さを完全になさるために下ってこられる。しかし、そのような人々の義務は、このお方のみ言葉を研究することである。」（同上 105, 106）

4. 反対に直面する

- a. 福音を教える者は何に対して準備ができていなければなりませんか (エレミヤ 12:5)。

「研究することを愛さない者は、いつも霊的、また精神的な成長において小人になる危険が大いにある。彼らは自分たちには聖書の主題に関してそれなりの理解があると考えており、調べるのをやめ、得られる限りの知識の宝をすべて得ようと深く耕すことをやめる。研究する習慣を培う代わりに、傾向に屈して、考察の下に精力的に問題の底まで行こうとせず、表面をすくい取ることに満足する。この研究の表面的なやり方をする人々は議論において自分たちに反対する人々と対面する用意がない。彼らは現在の危急に応じ、自分たちの怠惰な頭脳の本当の無知を隠すのに必要な分だけしか深く洞察しない。」(ビュー・アンド・ヘルド 1886年4月6日)

「聖霊の働きはあらゆる真理に導き入れることである。あなたが生ける神のみ言葉に心と意思と魂をもってより頼むとき、伝達の通路がふさがることはない。聖霊の導きの下にある深く熱心なみ言葉の研究があなたに新鮮なマナを与え、同じ御霊がそれを効果的に用いさせてくれるであろう。…この方向に向けて辛抱強く努力し、神のみ言葉を理解する働きに思いをつぎ込む人々は、神と共に働く共労者となる準備ができる。」(教会への証 6巻 163, 164)

- b. ダビデがゴリアテに対面するときサウルの武具を用いることを断ったことから、わたしたちはどのような霊的教訓を学ぶことができますか (サムエル上 17:39)。

「青年は自分で聖書を調べるべきである。彼らは、真理を見いだすのは経験において年長の人々で十分であり、より若い人々は彼らから権威あるものとして真理を受け入れることができると感じてはならない。…

だれにもわたしたちのために考えてくれるようにとより頼むべきではない。それがだれであっても、どの地位にしようとも、わたしたちはだれか人を自分の標準としてみるべきではない。わたしたちは互いに相談し、互いに従うべきである。しかし同時にわたしたちは何が真理であるかを学ぶために神が自分に与えて下さった能力を働かせるべきである。わたしたちは各自神聖な啓発を求めて神を仰がなければならない。わたしたちは個人個人、神の日のテストに耐える品性を発達させなければならない。」(牧師への証 109, 110)

5. それらをあなた自身のものとしなさい

a. 学者エズラによって、どの靈感を与える模範が残されましたか(エズラ 7:10)。

「自分たちの働きを十分に証明するために、神のみ言葉を他の人々に開いて見せる人々は聖書を勤勉に調べるべきである。彼らは他の人々の思想を用いて満足するのではなく、真理を隠された宝のように掘り下げるべきである。他の人々の頭脳から考えを集めるのは全く正しいことであるが、彼らはそれらの考えを取り上げて、それらをオウムのように繰り返して満足すべきではない。それらの考えを自分自身のものにしなさい。兄弟がたよ、あなた自身の研究と調査から、あなた自身が論拠を形づくりなさい。他の人々の頭脳とペンの産物を借りて、それらを教訓として暗唱してはならない。そうではなく、神があなたに与えて下さったタラント、頭脳の力を最大限に用いなさい。」(ビュー・アンド・ハルト 1886年4月6日)

「早く起きて、自分の一瞬一瞬を節約することによって、牧師たちは聖書を綿密に調べる時間を見いだすことができる。彼らは辛抱強くなくてはならない。そして、自分たちの目的を挫折させられてはならない。かえって他の人々が、骨折りの労力を通して、自分たちのために明らかにし、また勤勉な辛抱強い努力をもって彼らの手のために準備された真理に助けを得て、根気強く自分の時間をみ言葉の研究に用いなければならない。何年も勞し、他の人々に真理を教えながら、自分自身はわたしたちの立場の強みに精通していない牧師がいる。わたしはそのような人に、自分の怠惰と決別するように懇願する。それは彼らにとって絶えざるのろいである。神は彼らが一瞬一瞬を何らかの善のために自分自身にとっても、あるいは他の人にとっても実りあるものとするよう要求しておられる。『熱心で、うむことなく、靈に燃え、主に仕え』、『その仕事を怠る者は、滅ぼす者の兄弟である。』(教会への証 2巻 500)

個人的な復習問題

1. 教師は自分の立場を最善に果たすために、何をすべきですか。彼はこれをどのように達成できますか。
2. ベレヤの人々は、どのように『時に応じて食物』を見いだしましたか。わたしたちはどのようにしてそれができますか。
3. 他の人々に教える人々は、どの習慣を培わなければなりませんか。
4. わたしたちはなぜ教えることができるために、自ら深く研究しなければならないのですか。
5. わたしたちはどのようにして、すべての支部において教える資質を向上させることができますか。

家庭教育者になるための案内書

「わたしの子供たちが真理のうちに歩いていることを聞く以上に、大きい喜びはない。」(ヨハネ第三 4)

「子供はたいてい両親のとおりになるものであり、親のからだの状態や気性や食欲、知的、道徳的な傾向は多少にかかわらずその子供に再び現われる。」(ミストリー・オブ・ヒーリング^{*} 342)

推奨文献： 家庭の教育 1-12 111-132

日曜日

8月18日

1. 彼らを勤勉に教える

a. 子供たちの最初の教育者として、両親にはどの責任がありますか(申命記 6:6-9)。

「神の戒めを教える準備として、神は、その戒めを心にたくわえておくように親たちにお命じになっている。『これらの言葉をあなたの心に留め、努めて……これについて語らなければならない』と、神は仰せになっている。子供たちに聖書への興味を持たせるためには、われわれ自身が興味をもたなければならない。子供たちが聖書研究を好きになるようにさせるには、まずわれわれが好きにならなければならない。」(教育 222)

b. テモテの信仰を確立させるにあたり、だれが助けになりましたか(テモテ第二 1:5)。教育の面において、母親たちはどの重大な役割を果たしますか。

「責任は特に母親にあるのであって、母親は生命の血液によって子供を養い、その肉体を築くばかりでなく、その子供の精神や品性を形成する知的、霊的感化を与える。」(ミストリー・オブ・ヒーリング^{*} 342, 343)

2. 家庭の位置

- a. アブラハムとロトの例がわたしたちの前にありますが、家庭を選ぶに際し、何を優先して考慮すべきですか(創世記 13:11, 12)。

「わたしたちが家を選ぶにあたって、まず第一にわたしたち自身およびわたしたちの家族をとりまく道徳的および宗教的な影響を考慮することを神は望んでおられる。…

人工的事物のみが見え、目にはいるもの、耳にきくものがしばしば悪念をいだかせ、そうぞうしさと混乱が疲労と不安を与えるような場所に住まないで神のみわぎをながめることができる場所に行きなさい。自然界の美と静けさと平安の中に精神の安定を見いだす……

わたしたちの祖先の住居は、彼らの子孫が全地にひろがる時の住居の型となるはずであった。……青空が屋根であり、美しい花が咲いている、生きた緑のもうせんが床だった。葉のおい茂ったりつばな木の枝が天蓋(てんがい)を形作っていた。その壁は偉大な芸術家であられる神のみ手のわぎになる壮麗な飾りでかざられていた。このきよい夫婦の環境には、各時代のための教訓があった。それは真の幸福は誇りとぜいたくにふけることなく、神のみわぎを通して神と交わることにあるということである。」(アドベンチスト・ホーム 135, 136)

- b. バプテスマのヨハネは自分の使命を考慮し、どの場所を選びましたか(マタイ 3:1)。

「キリストの先駆者であったバプテスマのヨハネは、幼少時代の訓練を両親から受けた。彼は生涯の大部分を荒野ですごした。…ヨハネは自分から都会生活の快樂やぜいたくを捨てて、荒野のきびしい訓練を選んだ。荒野での彼の環境は自己否定と簡単な習慣に適していた。」(アドベンチスト・ホーム 137, 138)

「都市に住むことによって、身体的に、精神的にあるいは靈的に向上する家族は、百に一つもない。」(田舎の生活 13)

「両親は田舎に、果樹を植えたり、野菜や小さい果物を育てることのできる耕作のための土地が付いた小さな家庭を確保することができる。…神はご自分の民が都市の郊外にそのような家を見つけるのを助けて下さる。」(医事伝道 310)

3. 子供の最初の学校

a. 神はだれが、子供の最初の教師となるように定められましたか（箴言 1:8）。

「両親は、自分の子供たちが8歳か10歳になるまで、唯一の教師となるべきである。彼らの思いが理解することができるようになったらすぐに、親は神の偉大な自然という書物を彼らの前に開くべきである。母親は、自分の家や、見せびらかすための自分の衣服の準備における人工的なものへの愛着を減らし、自分自身にも自分の子供たちにも、美しいつぼみや開きかけた花々への愛を培う時間を見いだすべきである。自分の子供たちの注意をその様々な色や多様なかたちに向けさせることによって、彼らを神と親しくさせることができる。このお方は彼らを魅了し、喜ばせるあらゆる美しいものを造られたのである。彼女は彼らの思いを自分たちの創造主へと導きあげ、彼らの若い心の中に天父への愛を呼び覚ますことができる。このお方は彼らのために非常に大きな愛を表された。両親は神が創造されたあらゆるみわざと神を結びつけることができる。8歳から10歳の子供のための唯一の教室は、開きつつある花や自然の美しい光景のただ中にある戸外の中にあるべきである。そして彼らの唯一の教科書は自然の宝であるべきである。心地よく魅力的な自然界の光景のただ中で若い子供たちの思いに刻まれてこれらの教訓は、すぐに忘れるものではない。」（教会への証 3巻 137）

「賢明な主は、家庭があらゆる教育機関の中で最高のものとなることを定められた。子供の教育は家庭で始めなければならない。家庭は子供の最初の学校である。」（アドベンスト・ホーム 195）

b. どの勧告が、できる限り長く親が自分自身の子供を教育するよう励ますべきですか（詩篇 34:13, 14）。

「ある父親や母親は非常に無関心であったり不注意であって、自分の子供たちが教会小学校に行こうが公立の学校に行こうが大した違いはあるまいと考える。『世の中に住んでいるのだもの、そこから抜け出すわけにはいかないよ』と彼らは言う。しかし両親がたよ、わたしたちはその気さえあれば、世の中から抜け出るよい道を得ることができるのである。わたしたちは、この終末の時代にすみやかにふえていく多くの悪から目をそらすことができる。わたしたちは実在する多くの悪や犯罪について聞くのを避けることができる。」（同上 462）

「正しい基礎の上に子供の品性を築き上げるのに、家庭にまさるものは一教会小学校であろうと大学であろうと一ない。」（家庭の教育 168）

4. 責任と勤勉の教訓

- a. 責任を持つ成人になるよう最高の準備をさせるために、両親は自分の子供たちをどのように教育すべきですか（箴言 22:6）。

「子供も両親と同じく家庭においては重要な義務がある。子供は家庭という会社の社員であることを学ばなければならない。彼らは養育され、衣類を与えられ、愛され、世話されているのであるから、自分の家庭の重荷を分担して、おのが分を尽くし、自分が一員となっているその家庭にできるだけ幸福をもたらし、こうした数々の恩恵にこたえるべきである。

どの母親も自分の子供たちに、彼らが家庭という会社の社員であって、この会社の責任をひとりひとり分担しなければならぬことを教えなければならない。家族の者はみな、教会員が教会関係の責任を忠実に負うようにこれらの責任を負わなければならない。

走り使いをすることは父親や母親を助けていることだということを子供たちに知らせなさい。あなたのための仕事を幾らか与えて、それをしたあとで遊ぶ時間を与えると彼らにいいなさい。

子供たちのあたまは活発に活動しているから、実際生活の重荷を負うことにあたまを働かせる必要がある。…彼らを放っておいて、自分で仕事をみつけさせてはならない。親が自らこの問題を支配しなければならぬ。」（アドベント・ホーム 315, 316）

「子供たちができることは何でもして、親を手伝うようにさせなさい。そして親は、子供たちの手助けに対して、感謝の気持ちを表しなさい。家族という団体の一員であるという自覚を、子供たちに持たせなさい。仕事を手早くきちんとやるために、できるだけ考えて計画を立てるよう、子供たちに教えてやりなさい。」（家庭の教育 120）

- b. 有用さのためには、どの品性の特徴が重要不可欠ですか（箴言 22:29）。

「青年にとって確かな保護の一つが有用な仕事である。勤勉な習慣を身につけるように訓練され、それによって自分たちのすべての時間を有益に気持ち良く用いる子供たちは、…悪習慣や悪い仲間を形成する危険はほとんどない。…

勤勉と徹底の習慣は、年を経て成長したときに入らなければならないより大きな人生の学校において、青年にとって語り尽くせない祝福となる。」（両親、教師、生徒への勧告 122, 123）

5. 神聖な働き

- a. 聖書は家庭の頭の神聖な働きを、どのように描写していますか（詩篇 128; イザヤ 8:18）。

「両親がたよ、あなたがたは、他人があなたがたに代わって負うことのできない責任を負っている。あなたがたは生きている限り神の道を守る責任を神に対して負っている。…神のことばを指針とする人、子供たちが品性を形成するのにどれだけ親に依存しているかを認める人は、子供たちが見ならって安全な模範を示す。」（アドベンチスト・ホーム 201）

「牧師が忠実で愛情深い訓告によって、忍耐強い訓練によって、魂を取り戻し救うための熱心な祈りによって、教会のためにできるすべてのことをなした後、なお成功しないと、父親と母親はしばしば自分の子供たちが改心しないと行って、彼ら自身の怠慢のゆえかかもしれないときに、牧師を責める。重荷は両親の上にかかっているのである。であれば、彼らは神が彼らに委ねられた働きに取りかかり、忠誠をもってそれを果たすであろうか？」（教会への証 5 巻 495）

「子供をその進むべき道に進めるように訓練するあなたの仕事を安息日学校の教師にしてもらおうと望んではならない。安息日学校は大きな祝福である。それはあなたの仕事を助けてくれるであろうが、あなたの代わりになることはできない。神はすべての父親と母親に、子供をイエスのもとに連れて行き、どのように祈り、どのように神のことばを信じるかを教える責任をお与えになった。」（アドベンチスト・ホーム 203）

個人的な復習問題

1. なぜ両親は子供たちの第一の教育者だと見なされるのですか。
2. 家庭の環境は、どのように教育の働きと関係していますか。
3. 幼い子供たちが家庭から離れて過ごす毎日とはどのような結果になる可能性がありますか。
4. 家庭の教育は、どのようにあなたの残りの生涯の有用性の中核となりますか。
5. なぜある親は、自分自身の失敗のために教会を責めるよう誘惑されますか。

教会と教会の青年

「人が若い時にくびきを負うことは、良いことである。」(哀歌 3:27)

「主は青年男女がご自分の奉仕へ入るよう招いておられる。青年は受容性があり、新鮮で、熱心で、希望に満ちている。彼らが一度自己犠牲の精神を味わったなら、絶えず偉大な教師から学ばない限り、満足しない。」(わたしたちの高い召し 306)

推奨文献： 青年への使命 169-172

日曜日

8月25日

1. わたしたちの最初の義務

- a. 謙遜な信仰の模範として、イエスはだれを褒められましたか (マタイ 18:1-6)。
- b. イエスはご自分の最も熱心な弟子の一人に何をおたずねになりましたか (ヨハネ 21:15-17)。

「ペテロを伝道に復帰させるとすぐにキリストが彼にまかされた最初の働きは、小羊を飼うことであった。これはペテロにとってほとんど経験のない働きだった。それには非常な注意とやさしさ、また非常な忍耐と辛抱が必要だった。それは、信仰の若い人たちに奉仕し、無知な人たちに教え、彼らの前に聖書を開き、彼らをキリストの奉仕に役立つように教育する働きであった。」(各時代の希望下巻 355)

「ペテロは主を知らないと言ったけれども、彼をがまんされたイエスの愛は決してゆるがなかった。キリストの牧者は、自分の手に世話をまかされた羊と小羊にこれとちょうど同じ愛を感じなければならない。ペテロは、自分自身の弱さと失敗を忘れないで、キリストが彼を扱われたようにやさしく羊の群れを扱うのであった。」(同上 356)

- c. 両親、教育者、教会の指導者たちは、今日、心を探るどの質問に直面しますか (エレミヤ 13:20)。

2. 最高の働き

a. なし得る最高の伝道の働きは何ですか (マルコ 10:13, 14, 16)。

「年若い人々の霊的要求を顧みない事により、真理のために多大な損失を招いてきた。福音宣伝者は会衆中の少青年と親しく交わるべきである。……

なぜ自分たちの教会の中にいる青年たちに対する働きが、最高の伝道事業の一つとして認めないのであろうか。その事業は極めて細心の注意と、もつとも用心深い配慮、天来の知恵を求める最も熱心なる祈りを要する。青年はサタンの特別な標的である。しかし、親切、礼儀、そしてイエスへの愛に満たされた心よりあふれ出る同情は、彼らの信任を得、敵の多くのわなより彼らを救うのである。」(福音宣伝者 311, 312)

「わたしたちの教会員のすぐ傍らにある働きは、わたしたちの青年に関心を持つようになることである。なぜなら、彼らは親切、忍耐、優しき、教訓に教訓、規則に規則を必要としているからである。ああ、イスラエルの父親と母親はどこにいるであろうか。キリストの恵みの管理者となる数多くの人々がいるはずである。すなわち、単に普通の関心ではなく、特別な関心を青年に感じる人々である。青年たちが置かれている哀れむべき状況と、サタンが彼らを自分の網に引き込もうとありとあらゆる手段をもって働いていることに気づいて動かされる心を持った人々がいるべきである。」(両親、教師、生徒への勧告 41, 42)

「わたしたちの子供と青年の教育ほど重要な働きはない。教会は目覚めて、この働きに深い関心を表すべきである。なぜなら、今はかつてなかったほど、サタンとその万軍が、青年たちを破滅と死へ導く黒い旗印の下へ招集しようと決心しているからである。」(同上 165)

b. イエスは、どのように子供たちの価値を示されましたか (マタイ 18:2-4)。

「イエスは小さな子供をお呼びになって、彼らのまん中に立たせ、それからやさしくその子を腕の中にいだいて、『心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう』と言われた (マタイ 18:3)。幼な子の単純さと、私心のなさ、信じきった愛情は、天の神がとうとばれる特性である。これこそ真の偉大さの特徴である。」(各時代の希望中巻 213)

3. どのようにして小羊たちを養うか

- a. 子供たちは何を教えられるべきですか（詩篇 34:11）。これはどのようになされるべきですか。

「小さい子供たちの教育には特別なタレントが与えられるべきである。多くの者は、飼い葉おけを高いところにおいて羊に食物を与えることはできるが、飼い葉おけを低いところにおいて小羊を養うことの方がもっと難しい。」（教会への証 6 巻 205）

「ここでわたしが言いたいのは、自分自身の子供を持ったことがない人々は通常、賢明に子供や青年たちの様々な思いを扱う最高の資格を持つ者ではないということである。彼らはだれの心を動かすこともない一つの法則を作りがちである。教師は、かつて自分自身も子供であったことを覚えていなければならない。彼らは自分自身の教えを子供たちの思いに合わせ、彼らと共鳴するところに自らを置くべきである。」（同上 5 巻 653, 654）

- b. 教師たちはどの霊的な経験を持つべきですか。それから、どのように子供たちを教えるべきですか（申命記 11:18-21）。

「イエスは、幼い者をあなどつてはならないと、弟子をおいさめになったとき、各時代のすべての弟子たちにご命令になった。子供たちに対するキリストご自身の愛と思いやりは、彼に従う者のよき模範である。もし安息日学校の教師がこれらの小羊に当然感じるだけの愛を感じたら、もっと多くの子供たちがキリストの群れに加えられるであろう。適当な機会があるごとに、イエスの愛の物語を子供たちにくり返して聞かせよう。どの説教の一部にも、子供たちのためのお話をいれよう。キリストのしもべはこれらの子供たちの中に、いつまでも変わらない友だちをもつであろう。そして教師のことは『銀のほりものに金のりんごをはめたるごと』くなるであろう。」（安息日学校への勧告 84）

「子供たちの管理と指導は男女がとりあげることでできる最も高尚な伝道の働きである。実物を適切に用いることによって、教訓を明白にし、彼らの思いが自然から自然の神へと導かれることができるようにすべきである。わたしたちの学校に、この分野の働きを進める機転と技能を持った人々を得て、こうして真理の種がまかれなければならない。」（教会への証 6 巻 205）

- c. 教育において忠実さの結果は何ですか（箴言 22:6; ヨエル 1:3）。

4. クリスマン教育を第一とする

- a. キリストの働きは何でしたか。それはまたどのように教会の働きともなりますか(イザヤ 40:11)。

「青年は、通常の注意、すなわち時々与えられる注意や励まし以上のものを必要としている。彼らは骨折りの祈りに満ちた注意深い働きを必要としている。愛と同情に満ちた心を持つ人だけが、一見無頓着で無関心に見える青年の心を捕らえる事が出来る。すべての人を同じ方法で助けることはできない。神は各人をその気質や品性に従って扱われた。であるから、わたしたちもこのお方に協力しなければならない。わたしたちが外見で判断するために、しばしば無関心にやり過ぎられる人々は、彼らの内に働き人となる最上の素質があり、彼らのために捧げられた努力はみな報われるのである。どのように青年を扱うかという問題をもっと研究し、もっと真剣に祈らなければならない。」(福音宣伝者 312, 313)

- b. わたしたちの学校において、青年たちのために何が案内書となるべきですか(箴言 9:10)。

「安息日遵守者が、自分の子供たちを世俗的な交わりから分離させ、彼らをごく最上の教師、すなわち聖書をあらゆる研究の基礎にする人の下へ置くべき時は今である。」(教会への証 6 巻 109)

「クリスマンの教師、すなわち献身した伝道者として、子供たちを伝道者になるような方法で導く人を雇いなさい。」(両親、教師、生徒への勧告 174)

「多くの家族が、自分の子供たちを教育するという目的で、わたしたちの大きな学校が設立されている場所へ引っ越す。彼らは自分たちの境界線の内にいる子供たちが総合的で実践的なクリスマン教育を受けられる教会学校を設立するよう、自分たちがメンバーとなっている教会を奨励すべきである。より大きな諸教会のところへ行って、自分たちが必要とされていないために霊的な不活動に陥る誘惑が絶えずあるところへ行く代わりに、もし彼らがより小さな教会の中、すなわち彼らの助けを必要としているところにとどまるならば、自分の子供たちにとっても、自分自身にとっても、神のみ事業のためにもはるかに良いのである。」(教会への証 6 巻 198)

「主は、親が自分の子供たちをわたしたちの前にあるこの時のために教育し、準備する助けとして、教会学校をおおいになる。そうであれば、教会は学校の働きに真剣に取り組み、それを主が望まれるとおりのものにしようではないか。」(両親、教師、生徒への勧告 167)

5. 奉仕における青年

- a. 青年一人びとりのために、わたしたちの教会はどの目標を持つべきですか（イザヤ 54:13; ヨハネ第三 3, 4）。

「わたしたちの教会学校は、この偉大な働きに子供たちを準備するために神によって定められている。ここで、子供たちはこの時代のための特別な真理と、実践的な伝道の働きにおける指導を受けるのである。…彼らによって、神のメッセージが知らされ、このお方の救いの健康がすべての国民に知らされる。そうであれば、教会は群れの小羊のための重荷を担おうではないか。子供たちが教育を受け、神のための奉仕をなす訓練を受けるようにしましょう。なぜなら、彼らは主の嗣業だからである。」（教会への証 6 巻 203）

- b. なぜ、わたしたちは早いうちから、彼らを奉仕に関わらせるべきなのですか（伝道の書 12:1; 哀歌 3:27）。

「わたしたちは青年男女を、すなわち高い知的素養を持って主のために最上の働きをなすのにふさわしい者たちを必要としている。わたしたちはこの標準に向かって何かはしてきたが、なお主が意図してこられたことにははるかに及ばない。教会として、個人として、もしわたしたちが裁きの時に責めを負わずに立ちたいならば、わたしたちは自分の青年たちの訓練のためにもっと十分な努力を払わなければならない。こうして彼らがわたしたちの手に委ねられた偉大な働きのような分野のためによりよくふさわしい者となることができるためである。…

ある人々は青年たちの内に最も有望なわずかな人々だけを徹底的に教育して満足する。しかし、彼らはみな、現世における有用性にふさわしくなり、私的また公的生活の両方において責任の地位を占めるにふさわしくなる教育を必要としている。」（同上 206, 207）

個人的な復習問題

1. 群れの小羊を養うとは、どういう意味ですか。
2. なぜ最も重要な伝道の働きがしばしば見過ごされるのですか。
3. わたしたちの子供や青年の保護を、どのように向上させることができますか。
4. 教会学校は教会の教育の働きにおいて、どの役割を持っていますか。
5. わたしの地元の教会で青年を訓練するためにどのような助けを提供できる機会があるでしょうか。

第一安息日献金

イタリアのライトハウス伝道聖書学校のために

この世において伝道者になるためには、信仰と徳を持つだけでは十分ではありません。知識も持つ必要があります。それがなければ、神の民は「滅ぼされ」ます(ホセア 4:6)。このことを念頭に、2013年に聖書伝道学校イル・ファロ〔ライトハウス伝道聖書学校〕はセブンスデーアドベンチスト改革運動のイタリア委員会の教育施設として設立されました。「あなたがたは世の光である」が(マタイ 5:14)、学校のモットーである「光となるために光を受けよ」の思想を吹き込んだ聖句です。この施設はわたしたちの青年や教会員に、知識を得、もっと自発的な伝道の働きにおいて役に立つ者となる機会を提供します。



最初の講座、学校が主催したセミナーのシリーズは、2013年に始まり、2016年1月に終わりました。フランス、イタリア、ポルトガル、スペイン、ボルビア、コンゴ、エクアドル、ペルー、そしてルーマニアから生徒がこの講座に出席しました。彼らの多くはまだバプテスマを受けていませんでしたが、卒業するときまでには、一人を除いて全員がバプテスマを受けました。今日卒業生たちは、多くの伝道活動に関わり、彼らの内の幾人かは、地元の教会や委員会で役員になっています。わたしたちはこの最初の結果を神にとっても感謝しています。

初めの講座は、ポッピ教会の建物で行われました。しかし、昨年は一人の兄弟が、伝道学校の教育プログラムや他の教会行事に用いるためにダスティチ・グイオレ(アスティ)のブリッコ・マルチノにある自分の土地を捧げました。この土地には建物が付いており、国の中で良い一角に位置しています。

学校のためのプログラムを運営するために、わたしたちは建物の半分を改築し、少なくとも20人-25人の宿泊設備とまた教室や礼拝堂が必要です。このすべての改築をするために、イタリア委員会には資金がありません。このために、わたしたちは親愛なる兄弟、姉妹、友人たちに、この事業に惜しみない献金を下さるようお願いします。これによりライトハウス伝道聖書学校、すなわちイタリア語で運営される唯一のSDARM教育施設の教育プログラムが可能となり、人々がこのくらい世界で光となり、良き知らせを宣布し、わたしたちの主なる救い主イエス・キリストの再臨を早める準備を続けることができます。

イタリア委員会から皆さんの兄弟姉妹より

宣教学校の働き

「わたしはあなたを教え、あなたの行くべき道を示し、わたしの目をあなたにとめて、さとすであろう。」(詩篇 32:8)

「正しく訓練されたわれらの青少年たちから成るこのような働き人の軍勢があたえられるとき、十字架につけられ、よみがえり、まもなくおいでになる救い主の使命は、いかにすみやかに全世界に述べ伝えられることであろう。」(教育 320)

推奨文献： 青年への使命 172-175
人類のあけぼの下巻 253-264

日曜日

9月1日

1. 大きな必要

a. 今日、世界の必要は何ですか(ヨハネ 12:32)。

「自己は視野から外され続けている一方で、イエス・キリストはいつも掲げられ、高められていなければならない。」(言葉と歌における声 322)

「彼を掲げよ、カルバリーのキリストを。彼を掲げよ、世が彼を見ることがするために。このお方のいつくしみを語り、このお方の愛を歌い、このお方にあなたの心の感謝を捧げなさい。」(上を仰いで 37)

b. この働きはどのようにし遂げられますか(箴言 23:12; マタイ 28:19)。

「わたしたちは、メッセージを理解する民を準備するために、教育、教育をしなければならない。それからメッセージを世に伝えなさい。」(レビュー・アソッド・ヘラルド 1908年2月6日)

「今は、かつてなかったほど、わたしたちは教育の真の科学を理解する必要がある。もしわたしたちがこれを理解しないなら、神の御国に場所を得ることは決してない。」(思い、品性、個性 1巻 53)

「時が続く限り、わたしたちには学校が必要である。」(両親、教師、生徒への勧告 417)

2. 身体的訓練

- a. エリシャの召しは、どのように霊的な働きの準備として、身体的な訓練に光を当てていますか(列王紀上 19:19)。

「実地の働きによって、綿密な観察力と独自の考え方が養われる。実地の働きが正しくなされる時、それはいわゆる常識という実際の知恵の発達に役立つ。また物事を計画し実行する能力が発達し、勇気と忍耐力が増し加わる。そこにはまた気転と熟練の働きが要求される。」(教育 261)

「イスラエルのための神のご計画において、すべての家族は耕作するのに十分な地面のある土地に家庭を持つのであった。こうして有益で勤勉な自給生活のための手段と動機付けの両方が提供された。そしてどのような人間の発明もこの計画を向上させたものはない。」(両親、教師、生徒への勧告 275)

「過去の世代において、教育のための備えがさらに大きい規模で備えられるべきであった。学校と関連して、農業と製造業の施設があるべきであった。また家事の教師がいるべきであった。そして身体的また精神的力が等しく働かされるように、毎日一定の時間が労働に充てられるべきであった。もし学校がわたしたちの述べてきたような計画に従って設立されていたならば、これほど多く不均衡な思いを持った者はいなかったであろう。」(教会への証 3 巻 153)

「土を耕すということは、最上の種類の職業の一つである。それは筋肉を働かせ、思いを休ませる。農業の分野での研究はわたしたちの学校で与えられる教育のいろはであるべきである。これこそ始めるべき一番最初の働きである。わたしたちの学校は、健康のために非常に重要な穀物や野菜や果物のために輸入した産物に頼るべきではない。わたしたちの青年たちは、文学の分野と同様に、木を切り倒したり、土地を耕したりする教育も必要としている。様々な教師たちが多くの生徒たちが働いているところを監督するよう任命され、彼らと共に働くべきである。…

日々体系立てられた労働が、この終わりの時代にあっても、青年たちの教育の一部であり続けるべきである。この方法によって、多くのものを今得ることができる。この計画に従って、生徒たちは霊の順応性と思想の活力を実感し、与えられた時間内に、勉強だけしていたよりも多くの精神的労働をなしとげることができる。」(同上 6 巻 179, 180)

「ある人々は農業の働きの価値を認めない。これらの人々はわたしたちの学校のための計画を立てるべきではない。なぜなら、彼らは正しい道に前進するすべてを止めてしまうからである。」(同上 178)

3. 精神的発達

- a. 聖書研究は、どのように人の思いに影響を及ぼしますか（ヘブル 4:12; ペテロ第一 1:23）。

「聖句と聖句をくらべ、また霊的な事物を霊的な事物とくらべながら、聖書の中のいろいろな問題の関係を探り出すことに頭を働かせるときに、知的な能力が発達する。表面下深くは行って行きなさい。最も豊かな思想の宝が、巧みで熱心な探究者を待っている。」（青年への使命 258, 259）

「聖書をよく知っていることによって、識別力は鋭くなり、サタンの攻撃に対して魂の防御が固くなる。」（青年への使命 398）

「天来の啓示による驚くべき真理を把握するときに私たちの知性はつまらないテーマに能力を費やすことに満足できなくなり、今日の青年たちに道徳心を失わせるようなくだらない文学や怠惰な娯楽などは胸が悪くなるほどいやになる。聖書の中の詩人や賢人とまじわり、信仰の勇者のりっぱな行為に魂を感動させられた者は、名声高き世俗の著述家たちの書いた本の勉強に熱中したり、世俗のパロやヘロデやシーザーのような人たちの偉業について考えたりこれを賞賛したりするよりも、ずっと純潔な心と高められた知性をもって豊かな思想の領域から出てくる。」（同上 252）

- b. み言葉の感化力を通して、何が新しい契約の経験ですか（ヘブル 8:10; 詩篇 37:30, 31）。

「神の言葉に示された真理を敬虔な心で瞑想するとき、学生の心は、無限の心との交わりに入れられる。こうした研究は、品性を洗練して高尚にするばかりでなく、知力を拡大し、活気づけずにはおかないのである。」（人類のあけぼの下巻 260）

「神によって感動を受けた、尊い信仰は力と高尚な品性を与える。神の恵みとあわれみと愛を瞑想するとき、真理はいよいよ鮮明に理解され、心の純潔と思想の明りようを望む気持はさらに高まり、きよめられる。きよい思想の純潔なふんいきにある魂は神のみ言葉を研究し、神と交わり、それによって変化する。真理は非常に大きく、かつ遠大で深く、広く、自分が見えなくなるほどである。心は和らげられ、柔和になり、謙そんで愛を持つようになる。」（ミストリー・オブ・ヒーリング 449）

4. 霊的な強さ

- a. どのように聖書研究と指導は、わたしたちの伝道学校の生徒たちのうちで、より深い霊的な経験へと導きますか (ペテロ第一 1:23; エペソ 5:26)。

「神のみ言葉を研究する特権をわたしたちに与えることによって、主はわたしたちの前に豊かな宴を設けてこられた。このお方のみ言葉のごちそうから受ける恩益は多い。それをこのお方はご自分の肉と血、ご自分の霊と命として表しておられる。このみ言葉にあずかることによって、わたしたちの霊的な強さは増し加わり、恵みと真理の知識の内に成長する。自己制御の習慣が形成され、強められる。子供っぽい弱さ—いらだち、わがまま、利己心、性急な言葉、感情的な行動—は消え、その代わりにクリスチャンの青年男女の恵みが発達する。」(両親、教師、生徒への勧告 207)

「人が自分のタラントがどれほど小さくても、忠実さをもって用いるとき、聖霊が神の事柄をとりあげ、それらを新しく思いに提示なさる。ご自分の御霊を通して、神はご自分のみ言葉を、生き生きさせる力となす。それは鋭く力があり、思いに強い感化力を働かせるが、それは学んでいるからでもなく、人間という代理人の知性のゆえでもなく、神聖な力が人間の力と共に働いているがゆえである。であるから、すべての讚美が捧げられるべきなのは、神聖な力である。」(教会への証 8 巻 55)

- b. 真の伝道教育の目標は何ですか (ペテロ第二 3:18)。

「最高級の教育は、品性の最高の発達へと導くような知識と規律を与え、魂を神の命で測られる命にふさわしいものとするような教育である。永遠がわたしたちの考えから見失われてはならない。最高の教育は、わたしたちの子供や青年たちにキリスト教の科学を教える教育である。それは彼らに神の方法の経験的な知識を与え、キリストがご自分の弟子たちに神の父親としてのご品性についてお与えになった教訓を彼らに与えるのである。」(両親、教師、生徒への勧告 45, 46)

「青年の教育と訓練は、重要にして厳粛な働きである。確保すべき偉大な目的は、品性の適正な発達であるべきである。それは個人が現世の義務を果たし、最終的に将来不死の生涯に入るのに正しくふさわしいものとなるためである。この働きがどのような方式でなされたかは、永遠が明らかにするであろう。」(教会への証 4 巻 418)

5. 総合的な伝道者

- a. 地上におけるキリストの働きには、何が関わっていましたか(マタイ 4:23)。わたしたちは今日同様の働きをなすために、わたしたちの伝道者をどのように訓練すべきですか。それはなぜですか。

「最も重要な一つの働きは、わたしたちの医事伝道の働きであることを覚えていよう。わたしたちの治療院が設立された重大な目的を決して見失ってはならない。それは、地上における神の最後の働きの前進である。

ローマ・リンダは治療院であるばかりでなく、教育センターとなるべきである。この場所を持つことによって、この施設の働きを教育的な性質のものにするという重大な責任がもたらされる。ここに福音の医事伝道者を訓練するための学校が設立されるべきである。」(健康に関する勧告 233)

「マジソンの学校は、聖書の知識において教育するばかりでなく、生徒が召された伝道地へ自給伝道者として出て行くのにふさわしい実践的な訓練を与えるのである。彼は学生時代に、どのように簡素にしっかりと建設し、どのように土地を耕し、傷ついた者の世話をするかを教えられる。この医事伝道の働きのための訓練こそ、どの学校でも設立される最も壮大な目的の一つである。…

神の民が、迫害のゆえに多くの国々へ散らされる時がまもなく来る。総合的な教育を受けてきた人々は、彼らのいるところで優位であろう。主はこのようにご自分の民を、真理を広める働きのために自分のあらゆる機能と能力の訓練へと導かれることによって神聖な知恵を表される。」(原稿リス5 巻 280)

個人的な復習問題

1. なぜ、伝道者たちを準備させる特別な働きが、今、かつてなかったほど重要なのですか。
2. 教育における肉体労働の役割を説明しなさい。
3. なぜ聖書研究は最高の精神的発達を提供するのですか。
4. 生徒たちが神のみ言葉の宴から定期的に食するとき、何がその結果ですか。
5. 総合的な伝道者とするのを助ける技能は何ですか。

世界に伝える

「そして彼らに言われた、『全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。』」(マルコ 16:15)

「わたしたちの主イエス・キリストは人類の必要に応じられるために倦むことのないしもべとしてこの世においでになった。……人類を完全に回復することが彼の使命であった。彼は、健康と平安と完全な品性を与えるためにおいでになったのである。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 3)

推奨文献： 伝道 13-19

日曜日

9月8日

1. あなたの使命

- a. 地上におられたとき、何がキリストの使命でしたか(ヨハネ 18:37)。ご自分の使命を果たすために、このお方は何に焦点を合わせておられましたか(ヘブル 12:2)。

「キリストは、ご自分の使命の結果をいつも目の前に見ておられた。」(各時代の希望中巻 175)

「このお方はすべての人の内に、救うことが自分の使命である魂を見ておられた。」(福音宣伝者 163)

「何事にもキリストはご自分の使命のために、みずからの欲望をきびしくおさえられた。彼は父のみこころにすべてを従わせることによって、ご自分の生涯を栄光あるものとされた。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 4)

- b. 何が生涯におけるわたしたちの使命となるべきですか(ヨハネ 15:12)。

「キリストが世の人々を愛されたようにわれわれも彼らを愛するとき、その時われわれにとってキリストの使命は達成されるのである(ヨハネ 15:12)。われわれは天国にふさわしい者となる。なぜならわれわれの心のうちには天国があるからである。」(各時代の希望下巻 114)

「人を助け、人を恵みたいという衝動が絶えず心からわき出るときに、クリスチャン品性は完成する。」(患難から栄光へ下巻 254)

2. すべての人のための場所

a. 暗い夜に明かりのついた町について、どのような意味がありますか(マタイ 5:14)。

「靈的暗黒の夜に、神の栄光が教会を通して輝き出て、失望した者を励まし、悲しむ者を慰めなければならない。

わたしたちのあたり一面に、世の人びとの悲しい叫びが聞こえる。どちらを向いても、欠乏と困窮に陥っている者がいる。人生の困難や悲惨を和らげ、救うことが、わたしたちの務めである。」(キリストの実物教訓 393)

b. わたしたちはみな何になるように召されていますか(イザヤ 43:10)。そうであれば、だれの上に福音を宣布する責任がありますか。

「真の弟子はみな伝道者として神の国に生れているのである。」(各時代の希望上巻 234)

「神の恵みの富、はかり知ることのできないキリストの富を世界に伝えるための神の生きた通路になるという特権は、だれにでも与えられている。……人の心に喜びと祝福を与える清い油を注ぐことができる管を、全天は待っているのである。」(キリストの実物教訓 395)

c. 各々の一般信徒に、どの責任が与えられていますか(マルコ 13:34)。

「地上における神の働きは、わたしたちの教会を構成している男女が働きに従事し、自分たちの努力を牧師や教会役員と結合させない限り、決して終えることができない。」(福音宣伝者 352)

「生活費の得られる道が開かれたところに、真理に良く根ざした家族が入り、一つあるいは二つの家族がひとつの場所に、伝道者として働くために入るようになさい。…彼らはわたしたちの出版物を配布し、自分たちの家で集会を開き、近隣の人たちと知り合いになり、彼らをこれらの集会に来よう招くことができる。」(教会への証 8巻 245)

「教会員は目覚めて、牧師や働き人たちの手を支え、それが上がり続けているよう助け、み事業の関心を前面に押し出さなさい。…もし人が信仰を働かせ、へりくだって自分の神と共に歩むならば、彼は…定められた場所を満たすことができる。」(ビュー・アンド・ワールド 1895年7月9日)

3. 生きている教会

a. イエスの別れの指示は何でしたか (マルコ 16:15)。

「神はキリスト者の家族が、地上の暗黒の場所へ出ていって、靈的暗黒に閉ざされている人々のために、賢く忍耐強く働くように招いておられる。こうした召しにこたえるには、自己犠牲が必要である。多くの人々がすべての障害物の取り除かれるのを待っている間に、魂は望みなく、神なく死んでいる。世俗的利益のためや科学的知識獲得のために、人々は喜んで伝染病の多い地域へ入って行って、苦難と欠乏とに耐えるのである。救い主のことを他の人々に伝えるために、喜んでそれと同じことをする人々がどこにいるのであろうか。」(国と指導者上巻 141)

b. まさに今、神はわたしたちに何をしよう召しておられますか。それはなぜですか (ローマ 13:11, 12)。

「働く教会は発展する教会であります。教会員は、他人を助ける事により、刺激を感じ、強壯な力を受ける。」(福音宣伝者 198)

「恵みに成長するただ一つの方法は、キリストがお命じになった働きを無我の精神でなすことであって、助けを必要としている人に、自分たちの力の及ぶかぎり助けと祝福を与えることである。力は使えば出てくる。」(キリストへの道 109)

c. わたしたちはどのようにしてキリストの再臨を早めることができますか (マタイ 24:14)。

「主イエス・キリストの再臨を待ち望むばかりでなく、それを早めることが、すべてのクリスチャンの特権である (ペテロ第二 3:12)。キリストの名をとなえるすべての者が、神のみ栄えのために実を結ぶなら、福音の種は、どんなにすみやかに、全世界にまかれることであろう。世界の最後の大収穫は、急速に熟すであろう。そして、この尊い実を集めるために、キリストはおいでになるのである。」(キリストの実物教訓 47)

「福音事業の任命を完成するために、神の教会の会員が、光の必要な自国や外国の伝道地で、それぞれ定められた働きをするならば、まもなく全世界に警告がゆきわたり、主イエスは力と大いなる栄光をもってこの世にもどってこられるのである。」(患難から栄光へ上巻 116)

4. イエスがどのように働かれたか

- a. イエスは他の人々のためになすご自分の働きにおいて、どの方法をお用いになりましたか（マタイ 9:35, 36）。

「人の心を動かすにはキリストの方法だけが真の成功をもたらす。人間と交際しておられた間、救い主はその人たちの利益を計られ、同情を示し、その必要を満たして信頼をお受けになった。そして『わたしについてきなさい』とご命令になった。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング 115）

「彼は大通りで、個人の家々で、舟の上で、会堂の中で、湖の岸辺で、婚宴の席で、彼らを求められた。彼は人々が日常の働きをしているところで彼らに会い、彼らの俗事に興味を示された。イエスはご自分の教えを家庭に持ち込み、家族をそれぞれの家庭においてイエスのきよいご臨在の感化のもとにおかれた。イエスの個人的な強い同情は人々の心をとらえる助けとなった。」（各時代の希望上巻 176, 177）

「われわれは自分自身の利害問題に利己的に没頭しているのではなく、われわれの祝福と特権とを他人にわけ与えようと願っているのだということを、世の人々に見せよう。われわれの宗教はわれわれを非情にしたり苛酷（かこく）にしたりしないということを世の人々にわからせよう。キリストをみいだしたと言っている者はみな、キリストが人々を益するために働かれたように、奉仕しよう。」（同上 178）

- b. だれがイエスとの個人的な面談を求めて来ましたか（ヨハネ 3:2）。この訪問は、どのようにイエスの公生涯の大部分を照らしましたか。

「わたしたちは人々が自分のところにくるまで待つてはならない。わたしたちは人々がいるところへ出ていって、彼らをさがし求めねばならない。みことばが講壇から説教されたとき、働きは始まったばかりである。こちらからもつていかなければ、福音に接することができない人々がおびただしくいるのである。」（キリストの実物教訓 209）

「このことは大部分個人的な働きによってなしとげなければならない。これがキリストの方法であった。キリストの働きは大部分個人的な面談によってなされた。主は、一人の聞き手に心からの配慮をおもちになっていた。しばしばその一人の魂がイエスから聞いた話を数千の人々に伝えたのである。」（同上）

「彼は、どんな人間も無価値な者として見過ごしにすることなく、すべての人をいやそうとなさった。……彼は最も粗野な絶望的な人々にも、彼らがきずなくけがれなき者となり、神の子らしい品性に到達しようとの確証を与えて、望みをおこさせようと努力なされた。」（ミニストリー・オブ・ヒーリング 9）

5. 輝く

a. イエスはどのようなよう、わたしたちに指示されますか (マタイ 5:16)。

「キリストは弟子たちに光を輝かすように努力せよと、お命じにならなかった。ただあなたがたの光が輝くままにいなさいと言われただけであった。もし、キリストの恵みを受けているのであれば、光はあなたのうちにある。障害物を取り除くならば、主の栄光は、あらわれるのである。光は暗黒の中に輝き出て、やみを追いやってしまう。こうしてあなたは自分の感化の及ぶ範囲で、光を輝かさずにはおられない。(キリストの実物教訓 396)

「天の知的存在者たちは、人間の助けに協力しようと待っている。人間が何になれるか、彼らの感化力を通して、滅びようとしている魂の救いのために何をなし遂げられるかを、彼らが世に表すことができるためである。真に改心している人は、神の愛に満たされているので、他の人々に自分自身が持っている喜びを分け与えようと切望する。」(教会への証 9 卷 30)

「自己を忘れて心の中に聖霊が働く余地を与え、神に全く献身した生涯を送る者の有用さには限りがない。」(ミストリー・オブ・ヒーリング 132)

b. 教会は、世に対してどのような影響を及ぼしますか (使徒行伝 17:6)。

「神に仕えるという者が、その日常生活において、律法の原則を実行して、キリストの模範に従うとき、すなわち、何をしても、その行為によって、彼らが神を何ものよりも愛し、隣人を自分のように愛していることを示すときに、教会は、世界を動かす力をもつようになるのである。」(キリストの実物教訓 316)

個人的な復習問題

1. わたしたちはわたしたち自身の使命に関連してイエスの使命から、何を学ぶことができますか。
2. 神はわたしにどの個人的な使命を与えて下さいましたか。
3. どのようにして教会は生きている教会であり続けることができますか。
4. 人々の心に手を差し伸べるイエスの方法は何でしたか。
5. イエスに従う人は、どのように自分の光を輝かせますか。

永遠のために築く

「そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。」(ピリピ 1:6)

「神のみこころに協力して、青少年に神の知識を授け、彼らの品性を神のご品性に調和するように形づくる者は、高くそしてとうとい働きをしているのである。神の理想に到達しようとの望みにめざめるとき、彼は、天のように高く、宇宙のように広い教育、現世においては完成されないで来世にまでつづく教育をさすけ、すぐれた生徒に、地上の予備校から天の上級学校に進む入学許可証を得させる教育をさすけるのである。」(教育 8, 9)

推奨文献： 教育 352-361

日曜日

9月15日

1. より高い目的

- a. わたしたちは永遠のうちに、何を前方に見なければなりませんか (コリント第一 2:9; イザヤ 64:4)。

「神がご自分の子らに望まれる理想は、人間の最高の思いが達することができるよりもっと高い。『それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい』(マタイ 5:48)。この命令は約束である。あがないの計画には、われわれをサタンの権力から完全にとり戻すことがもくろまれている。」(各時代の希望中巻 20)

「教育はここで始まったが、この生涯で完成するのではない。それは永遠を通じて前進し、絶えず進歩し、決して完成しないのである。日々神の素晴らしいみわざ、宇宙を創造し維持することにあられるこのお方の奇跡的な力の証拠が、新しい美しさのうちに、思いの前に開かれる。御座から輝く光のうちに神秘が消え、以前決して理解できなかった事柄の単純さに対する驚きに魂は満たされる。」(教会への証 8 巻 328)

2. あなたの生涯の経験を築く

- a. わたしたちのクリスチャン生活には、しばしば何が伴いますか。そして結果としてわたしたちの態度はどうあるべきですか。それはなぜですか（ペテロ第一 4:12, 13）。

「神の子らはいつも苦難の炉で試されている。もしわたしたちが最初の試練に耐えるなら、彼らが似たような試練を二度経験する必要はない。しかし、もし失敗するならば、その試練は繰り返し何度も彼らに臨み、毎回、それはさらにつらく厳しいものになっていくのである。こうして、彼らの前に勝利を得、神に対して真実であるかを証明する機会が次々と置かれる。しかし、もし彼らが反逆を表し続けるならば、神はついには聖霊と光を彼らから取り除かれるのである。」(SDA パイブル・コメンタリ [E. G. ホイトコメント] 4巻 1146)

- b. 試練の火によって何が試されますか（コリント第一 3:9, 10, 12）。

「品性建設に、どのような材料が使われるかが一つ一つの違いを生む。長く待たれた神の日はまもなく、すべての人の働きを試すことになる。『火がすべての人の働きがどのような種類のものであったのかを試す』。火が金、銀、宝石と木、草、わらの間の違いを明らかにするように、裁きの日には品性が試され、キリストのかたちと品性に従って形成された品性と、利己的な心のかたちに従って形成された品性を試す。あらゆる利己心、あらゆる偽りの宗教は、その時ありのままで現れるようになる。価値のない材料は燃やし尽くされる。しかし、真実で単純で謙遜な信仰という金は、その価値を決して失うことがない。それは燃やし尽くすことができない。なぜなら、それは朽ちないものだからである。一時間の不法が大損失として見られるようになる一方、主を恐れることは知恵の始まりであることが見られる。自己放縱の楽しみは、わらのように滅びるものであるが、どのような代価を払っても維持される堅固な原則という金は永続するのである。」(同上6巻 1087, 1088)

「この品性建設は最も重要な働きである。それは現世で終わる働きではなく、将来の生涯にも影響する。ここであなたがキリストの功績と恵みを通して自らをどのようなものにしたかは、永遠の年月にわたって保持される。であるから、わたしは最も熱心にあなたが低い標準に合わせるということがないように嘆願する。『わたしに学びなさい』と偉大な教師は言われる。『わたしは柔和で心のへりくだった者である。そして、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう』。キリストが与えてくださる平安は決して、決してそれに悲しみが伴うことはない。」(この日を神と共に 37)

3. 神はどのように火を用いられるか

a. 火によって何が明らかにされますか (コリント第一 3:13)。

「神の御使たちは、これらの諸都市の街路を行ったり来たりして、人の行為を記録している。彼らは神の覚えの書に信仰の言葉、愛の行為、精神のへりくだりを記録する。そしてすべての人の行いがどのような種類のものであるかが試される日に、謙遜なキリストの従者の働きはテストに耐え、天の称賛を受けるのである。」(SDA バイブル・コメンタリ [E. G. ホイトコメント] 7巻 987)

「青年男女はよい品性を、金や銀や株よりも価値のある資本金だとみなすべきである。それは恐慌や破産に影響されることなく、地上の財産が一掃されるときにも豊かな利益をもたらす。…高潔さ、堅固さ、辛抱強さは、すべての人が培うようにと熱心に求めるべき資質である。なぜなら、それらはそれを持つ人に抵抗しがたい力、すなわちその人に、善をなすのに強くし、悪に対抗するのに強くし、逆境に耐えるのに強くする力をまとわせるからである。」(教会への証4巻656)

b. ロトとソロモンは、どのように「火の中をくぐってきた者のように」救われたのですか (創世記 19:16, 17; 列王紀上 11:4)。

「ロトは、自分自身と家族とを取り囲む霊的な感化よりもこの世の利益を得ることを望んだので、居住の場所としてソドムを選んだ。この世の事物に関する限り、彼は何を得たであろうか。彼の財産は滅ぼされ、子供の中のある者はあの邪悪な町とともに滅亡し、彼の妻は途中で塩の柱と変り、彼自身は、『火の中をくぐってきた者のように』ではあるが、救われ」た。(コリント第一 3:15)。彼の利己的な選択の悪い結果はそれだけにとどまらなかった。ソドムの道徳的墮落は彼の子供たちの品性に織りこまれていたので、彼らは善と悪、罪と義とのみさかいかつかなかった。」(青年への使命 421)

「ソロモンは『火の中をくぐってきた者のように』救われることができたが、彼の悔い改めは、それらの高いところを取り除いたり、それらの石を取り壊したりすることはできず、彼の犯罪の証拠として残った。彼は神性にあずかるよりも、欲に支配されることを選んで、神を汚した。」(SDA バイブル・コメンタリ [E. G. ホイトコメント] 2巻 1031)

4. 永遠の結果

- a. 火はどのようにわたしたちの学びとわたしたちの将来に影響を及ぼしますか（コリント第一 3:14, 15）。

「永遠がわたしたちの前にある。わたしたちがここで自分たちの知能を向上させたすべて、天と緊密につながることによって自らを精錬し高めることにおいて果たした偉業すべては、わたしたちと共に移されるが、一方もしわたしたちが活動しないことにより自分たちの能力を矮小化し、最高の修練を受ける余地のある自分たちのタラントを低下させるなら、よりよい世界で過去の自己修練の怠慢、すなわち大損失を贖うことはできない。

ある人々は火の中をくぐってきた者のように救われるかもしれない。彼らの無益な生涯は、彼らの前に無限な損失として持ち出されてきた。わたしたちは向上させたものを天へもっていくことができることを知って、神の助けと恵みにより可能なすべてを現世で向上させるべきである。わたしたちがここで自分の品性を精錬し、完全にするのに比例して、天におられるわたしたちの御父に栄光を帰すのである。」（原稿Ⅲ-9巻 21）

「次の将来の生涯に進むために、そこへ持っていくことのできるはずの力を半分奪われているというのは恐ろしい考えである。天にふさわしいものとなるにあたり現世で失われた恩恵期間の日々は、決して回復できない損失である。この世の生涯において非行と道徳的な力の乱用のために、将来の生涯における楽しみの能力が減じる。将来の生涯において、どれほど高く到達しても、もしわたしたちが神の与えてくださった特権と黄金の機会を最高に活用してきたならば、さらに高くなおも高く上げるのである。」（この日を神と共に 350）

- b. ダニエルと彼の友だちは、とこしえの岩の上に自分の教育を築いた結果を、どのように示しましたか（ダニエル 1:20）。

「青年は、次の世界のために学ぶ者となるべきである。知識を獲得することにおける辛抱強さは、神の恐れと愛に支配されて、現世で彼らに善のための力を増し加える。そして現世で最高の達成を果たすために自分たちの特権を最大限に活用してきた人々は、これらの価値ある取得物を将来の生活にまで持っていくのである。彼らは滅びないものを求め、それを得た。『目がまだ見ず、耳がまだ聞いたことのない』栄光を正しく評価する能力は、現世での諸機能の育成において、どこまで達成したかに比例する。」（クリスチャン教育の基礎 49）

5. 時を贖う

- a. わたしたちは失った機会をどのように取り戻すことができますか (エペソ 5:16)。

「わたしたちは、今の時を生かして用いるように勧められている。しかし、むだに過ごした時間は、永久に帰ってこない。一瞬間でも呼びもどすことはできない。ただ残っている時間を神の協力者となって神の大贖罪計画のために最善をつくすことによって、時をあがなうことができるだけである。」(キリストの実物教訓 318)

「わたしたちが人類同胞に対してなしうる最善のことは、自分自身の欠点を克服し、自分の品性を向上させ、それらを可能な限り卓越し均衡のとれたものにするこゝである。」(原稿別ス9巻 21)

- b. わたしたちは正しい判断を下すために、どれほどの時が与えられていますか (ヘブル 3:12-15)。

「わたしたちはこの日が自分に与えられた最後の日であるかのように、見張り、働き、祈るべきである。そうであれば、わたしたちの生涯はどれほど熱烈で真剣なものとなることであろう。わたしたちのすべての言葉と行いにおいて、どれほど緊密にイエスに従うことであろう。」(教会への証5巻 200)

- c. わたしたちの祈りはどうあるべきですか (詩篇 139:23, 24)。

『主よ、わたしの心をお受けください。わたしはこれをささげることはできません。これは、あなたのものです。どうぞきよく保ってください。これを、わたしが保っていることはできません。どうぞ、わたしを練り、形造り、清い聖なるふんい気の中に引き上げて、あなたの豊かな愛の流れが、わたしを通って流れ出るようにしてください。』(キリストの実物教訓 139)

個人的な復習問題

1. わたしたちの全生涯を通じての教育は、どのように始まりにすぎませんか。
2. 教育の働きにおいて、テストや試練は、どのような目的を果たしますか。
3. わたしたちの選択は、どのようにわたしたちの有用性と、さらにはわたしたちの永遠の運命にまで影響を及ぼしますか。
4. 「火の中をくぐってきた者のように」救われるとは、どういう意味ですか。
5. わたしたちは永遠のために、どのように最善を尽くすことを確かめることができますか。

聖霊の約束

「この後、わたしは、もうひとりの御使が、大いなる権威を持って、天から降りて来るのを見た。地は彼の栄光によって明るくされた。」(黙示録 18:1)

「学識、才能、弁舌など、先天的、後天的のいっさいの資質が備わっていても、神の霊の臨在がないならば、人の心に触れることも、罪人をキリストに導くこともできない。その反面、どんなに貧弱で無知な弟子であっても、キリストと結合し、聖霊のたまものを所有しているならば、必ず人々の心に触れる能力をもつことができる。」(キリストの実物教訓 302)

推奨文献： 患難から栄光へ上巻 43-53

日曜日

9月22日

1. 前の雨と後の雨

- a. 初期の教会における聖霊の注ぎが、どのようにあらかじめ述べられていましたか (ルカ 24:49; ヨエル 2:23)。

「種まき時と、収穫のころに東方の国々に降る前の雨、後の雨という比喩を用いて、ヘブルの預言者たちは、神の教会に異常なほど豊かに霊的恵みがさづけられることを預言した。」(患難から栄光へ上巻 51)

- b. 時の終わりに、どの預言が二重に成就しますか。わたしたちはこの時を予期して、何をすべきですか (ゼカリヤ 10:1)。

「福音の大いなる働きは、その開始を示した神の力のあらわれより劣るもので終わることはない。福音の開始にあたって秋の雨(前の雨) となって成就した預言は、その終局において、春の雨(後の雨) となって再び成就するのである。」(各時代の 大争闘下巻 382)

2. 教育と変化という御霊の働き

a. 今日、聖霊の働きは何をしますか(ヨハネ 16:13)。

「助け主は『真理の御霊』と呼ばれている。助け主の働きは真理を明らかにし、これを守ることである。助け主はまず真理のみたまとして心に住み、こうして助け主となられる。真理には慰めと平安があるが、虚偽には真の平安も慰めもない。サタンが人の心を支配する力を手に入れるのは偽りの説や言い伝えを通してである。サタンは人々を偽りの標準へ向けることによって、まちがった品性を形成する。聖霊は、聖書を通して心に語り、真理を心に印象づける。こうしてみたまは誤りをばくろし、それを魂から追い出される。キリストが選民をご自身に心服させられるのは、真理のみたまが神のみことばを通して働くことによってである。」(各時代の希望下巻 156)

b. 聖霊は、信徒の中にどの変化をもたらしますか(テサロニケ第二 2:13)。

「もし人々が造りかえられることを望むならば、全人格のきよめがなし遂げられるであろう。み霊は神に関する事柄を取り、それを魂に刻みつける。み霊の力によっていのちの道は明らかにされ、そこではだれも過ちをおかす必要がない。」(患難から栄光へ上巻 50)

「恵みを絶えず新たに受けている者たちだけが、日常の必要に応じて、また力を用いる彼らの能力に応じて、力を受けるであろう。霊的な力が特別に賦与されて、やがて救霊のために驚異的な装備を受ける時が来るのを待ち望むのではなく、彼らは、神の御用にふさわしい器としていただくために、日ごとに神に従っている。彼らは手の届く範囲にある奉仕の機会を毎日利用している。家庭の地味な仕事をしていても、あるいは、有用な社会の職場にいても、どこでも彼らは主のためにあかしを立てている。……

朝ごとに福音の使者が主の前にひざまずいて、献身の誓いを新たにするとき、神は信仰を覚醒させ、きよめる力をもった聖霊の臨在をお与えになる。日々の勤めに出かけるとき、彼らは見えない聖霊の力によって『神と共に働く者たち』となることができるという保証を受けるのである。」(同上 52, 53)

3. 御霊の実が現れる

a. 神の御霊は、どの実を結びますか（ガラテヤ 5:22, 23）。どのようにですか。

「イエスは、弟子たちに聖霊の任務をくわしく説明されたときに、ご自身の心に靈感を与えたよろこびと望みを彼らに吹きこもうとされた。主はご自分が教会に十分な助けをお与えになったことをよろこばれた。聖霊は主がご自分の民を高めるために天父に嘆願することがおできになるすべての賜物の中の最高のものであった。みたまは人を生れかわらせる働きをするものとして与えられるのであって、これがなければ、キリストの犠牲は何の役にもたなかつたであろう。悪の力は幾世紀にわたって強められ、人々がこのサタンのとりことして屈服していることは驚くばかりであった。罪に抵抗してこれに打ち勝つ唯一の道は、制限された力ではなく天来の満ち足りた力をもってこられる第三位の神、聖霊の偉大な働きを通してである。世のあがない主によって達成されたことに効果を与えるのはみたまである。心が清くされるのはみたまによってである。みたまによって、信者は神の性質にあずかる者となる。すべての先天的後天的な悪の傾向に打ち勝つ天来の力として、またご自身の品性を教会に印象づける天来の力として、キリストはみたまをお与えになった。」（各時代の希望下巻 156, 157）

「ペンテコステの当日、聖霊が注がれたその結果はどうであつたらうか。……どのクリスチャンもみな、お互いのうちに神の愛と慈善心があらわれているのを見た。ただ一つの関心が支配し、一つの対象を求める熱意が他のすべてをのみこんだ。信徒の望みはキリストのご品性に似たものとなることであり、神の国を発展させるために働く事であった。」（患難から栄光へ上巻 44）

b. 完全に明け渡す人々のために、神は何をなすことがおできになりますか（エペソ 5:18（下句））。

「失われた人類の救いのためにご自身をむなしくされたイエスには、聖霊が限りなく与えられた。同じように、主が内にお住まいになれるように全心をささげる時、キリストに従うすべての者に聖霊が与えられるのである。わたしたちの主ご自身が、『御霊に満たされ』なさいと命令されたが（エペソ 5:18）、この命令は成就する約束でもある。キリストの中に『すべての満ちみちた徳を宿らせ』（コロサイ 1:19）。」（祝福の山 25）

4. 準備する

a. 後の雨を期待して、わたしたちは何をすべきですか (ルカ 11:13)。

「キリストがご自分の代表者として聖霊を送るという別れの約束は、時がたつても変わりはない。み霊の恵みが豊かに地上の民に注がれないのは、神が制限しておられるからではない。もし約束の実現がみられないとすれば、それは約束が理解されていないからである。もしだれでも求めるならば、すべてのものはみ霊に満たされるのである。聖霊の必要性を重大に考えていないところには必ず、霊的なかわき、霊的な暗黒、霊的な墮落と死がある。小さな事に気を奪われているときにはいつでも、教会の成長と繁栄に必要な、しかもその後にごまごまの祝福をもたらす神の力が、たとえ限りなく豊富に提供されていても、なお欠けているのである。」(患難から栄光へ上巻 46)

「わたしたちは後の雨について心配する必要はない。わたしたちがしなければならぬのは、器をきれいに保ち、まっすぐ上に向けて天来の雨を受ける準備をし、『わたしの器に後の雨を降らせてください』と祈り続けることである。」(上を仰いで 283)

「わたしは、多くの人々が、必要な準備をおろそかにしていながら、主の日に立ち得て神のみ前に生きるにふさわしいものとなるために、『慰めの時』と『春の雨』(後の雨)とを待っているのを見た。…すべての罪、誇り、利己心、世を愛する心、すべての悪い言葉や行為に勝利するのでなければ、だれひとりとして、『慰め』にあずかることができないのを、わたしは見た。であるから、われわれは、ますます主に近づき、主の日の戦いに立ち得るために必要な準備をするように、熱心に求めなければならない。」(初代文集 149, 150)

b. 雨を求めるエリヤの祈りから、わたしたちは何を学ぶことができますか (列王紀上 18:41-44)。

「〔エリヤ〕は、自分の祈りが答えられるしるしを求めて見張りながら、神に誉を帰すことに失敗したところがないかを調べるために自分の生涯を回顧し続け、自分の罪を告白し、こうして神の前に自分の魂を悩ませ続けた。彼が自分の心を探るうちに、彼は自分自身の評価においても神の目にも、自分がますます小さくなっていくように思えた。自分が無であり、神がすべてであられるように見えたとき、そして、彼が自分の唯一の力と義として救い主によりすがる一方で、自己放棄の点に達したとき、答えは与えられた。」(ビュー・アソド・ハルト 1891年5月26日)

5. 終末の光景

- a. どの最終的な教育の働きがわたしたちの前にまだ残っていますか（ハバクク 2:14）。

〔第三天使のメッセージ〕が非常な力で伝えられる時が来るならば、主は謙遜な器を通して働かれ、主の奉仕に献身した人々の心を導かれる。働き人は、学歴ではなくて、聖霊を注がれることによって資格を与えられる。信仰と祈りの人は、聖なる熱意に燃えて出て行き、神から与えられる言葉を宣言せざるをえなくなる。バビロンの罪は暴露される。教会の法令を政権によって強制することの恐るべき結果、心靈術の侵入、法王権のひそかではあるが急速な発展などが、みな暴露される。これらの厳粛な警告によって、人々は動かされる。こうした言葉を聞いたことのない者が、幾千となく耳を傾ける。」（各時代の争闘下巻 376）

「メッセージは、議論によるよりも、神の霊の深い感動によって伝えられる。論拠はすでに示された。種はまかれた。そして今、それが生えて、実を結ぶのである。伝道者によって配布された文書は、その感化を及ぼした。しかし、感動を受けた人々の多くは、真理を十分に理解して、それに服従することを、妨げられていた。けれども、今、光は至るところにゆきわたり、真理は明らかにされ、神の忠実な子供たちは、彼らを束縛していたかせを絶ち切るのである。家族 関係、教会関係は、もはや彼らを止める力がない。真理は他の何物よりも尊いのである。諸勢力が力を結集して真理に反対するにもかかわらず、多くの者が主の側に立つのである。」（同上 383）

個人的な復習問題

1. 初期のクリスチャン教会の経験は（第1課で述べられたように）、最後の世代にとって、どのように特別な重要性を持っていますか。
2. なぜ、前の雨と後の雨を受けることは、真の教育の働きの一部なのですか。
3. 御霊の働きの結果として、どの実が発達すべきですか。
4. わたしはどのようにして、後の雨のために準備ができますか。
5. この地上における教会の教育の働きは、どのように成し遂げられますか。

第一安息日献金



7月6日

ウクライナにおける健康センター
のために (4 ページ参照)

8月3日

伝道学校のために
(25 ページ参照)



9月7日

イタリアのライトハウス伝道聖書
学校のために (51 ページ参照)